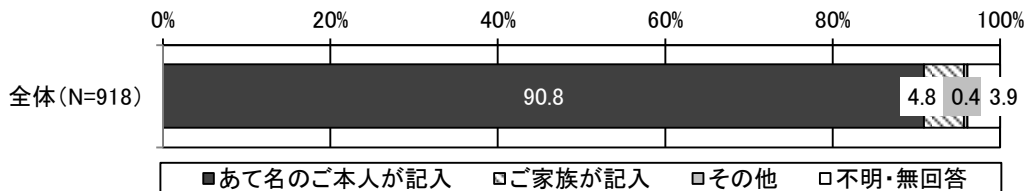


(3) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

記入者（単数回答）

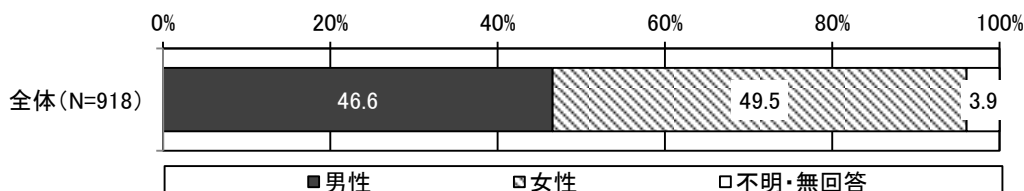
調査票の記入者についてみると、「あて名のご本人が記入」が90.8%となっています。



1. 問1 あなたご自身やご家族の生活状況について

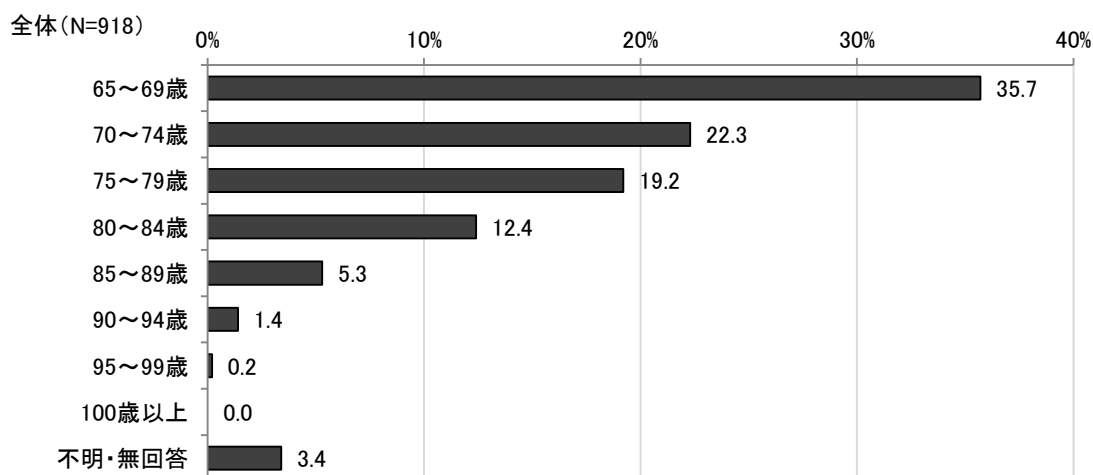
(1) あなたの性別をお答えください。(単数回答)

性別についてみると、「男性」が46.6%、「女性」が49.5%となっています。



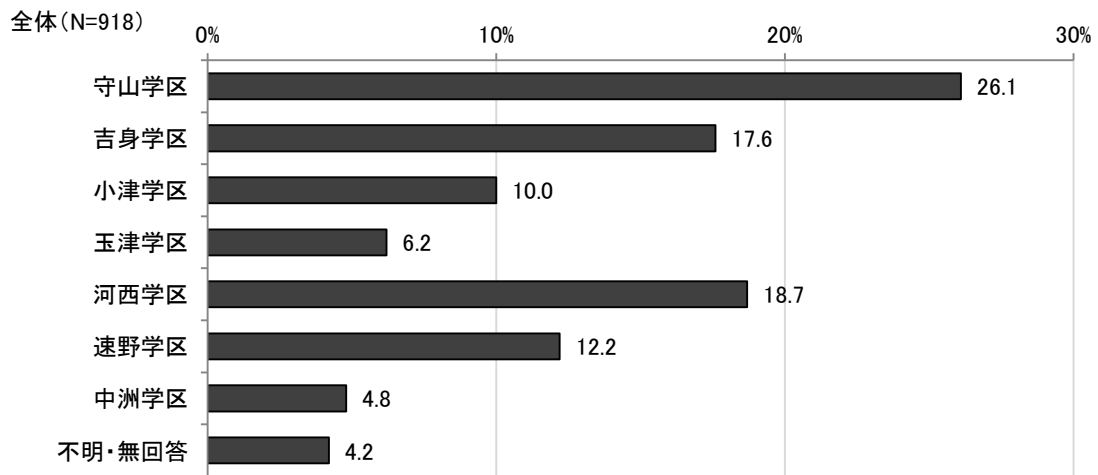
(2) あなたの年齢をお答えください。(単数回答)

年齢についてみると、「65～69歳」が35.7%、「70～74歳」が22.3%、「75～79歳」が19.2%と続いています。



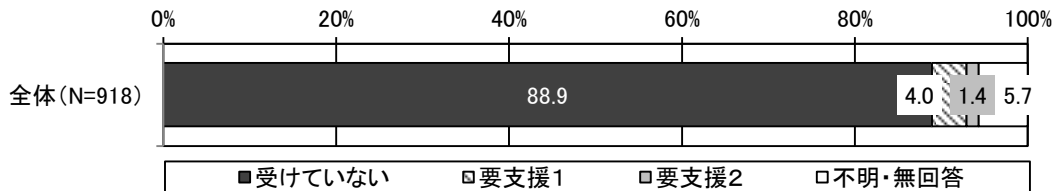
(3) お住まいの地区をお答えください。(単数回答)

お住まいの地区についてみると、「守山学区」が26.1%、「河西学区」が18.7%、「吉身学区」が17.6%と続いています。



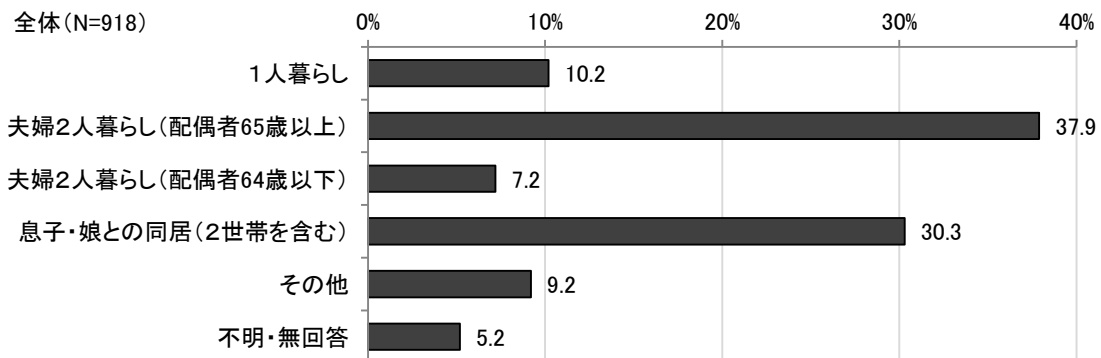
(4) あなたは介護保険における要支援認定を受けていますか。受けている方は認定の区分についてもお答えください。(単数回答)

要支援認定の有無についてみると、「受けていない」が88.9%、「要支援1」が4.0%、「要支援2」が1.4%と続いています。



(5) 家族構成をお教えてください。(単数回答)

家族構成についてみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が37.9%と最も高く、次いで「息子・娘との同居(2世帯を含む)」が30.3%となっています。



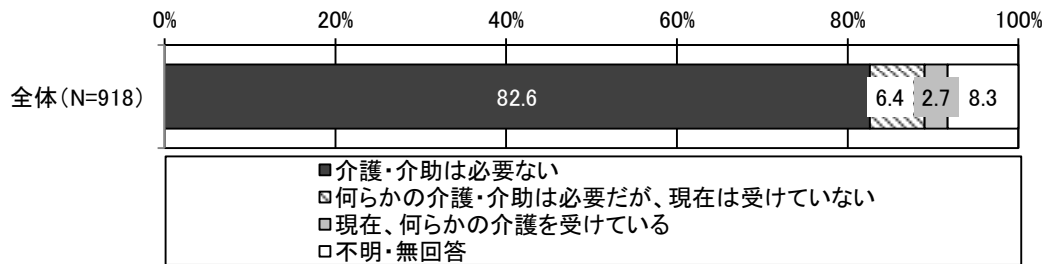
■家族構成 × 地区別

地区別にみると、『小津学区』『玉津学区』『中洲学区』では「息子・娘との同居(2世帯を含む)」、それ以外では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との同居(2世帯を含む)	その他	不明・無回答
お住まいの地区別	全体	N=918 94 10.2	348 37.9	66 7.2	278 30.3	84 9.2	48 5.2
	守山学区	N=240 29 12.1	106 44.2	19 7.9	63 26.3	17 7.1	6 2.5
	吉身学区	N=162 22 13.6	72 44.4	13 8.0	45 27.8	9 5.6	1 0.6
	小津学区	N=92 7 7.6	30 32.6	7 7.6	33 35.9	14 15.2	1 1.1
	玉津学区	N=57 4 7.0	20 35.1	4 7.0	26 45.6	3 5.3	-
	河西学区	N=172 12 7.0	68 39.5	12 7.0	59 34.3	19 11.0	2 1.2
	速野学区	N=112 15 13.4	35 31.3	9 8.0	34 30.4	13 11.6	6 5.4
	中洲学区	N=44 4 9.1	13 29.5	2 4.5	16 36.4	7 15.9	2 4.5
	不明・無回答	N=39 1 2.6	4 10.3	-	2 5.1	2 5.1	30 76.9

(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(単数回答)

介護・介助の必要性についてみると、「介護・介助は必要ない」が82.6%と最も高くなっています。



■介護・介助の有無 × 年齢別

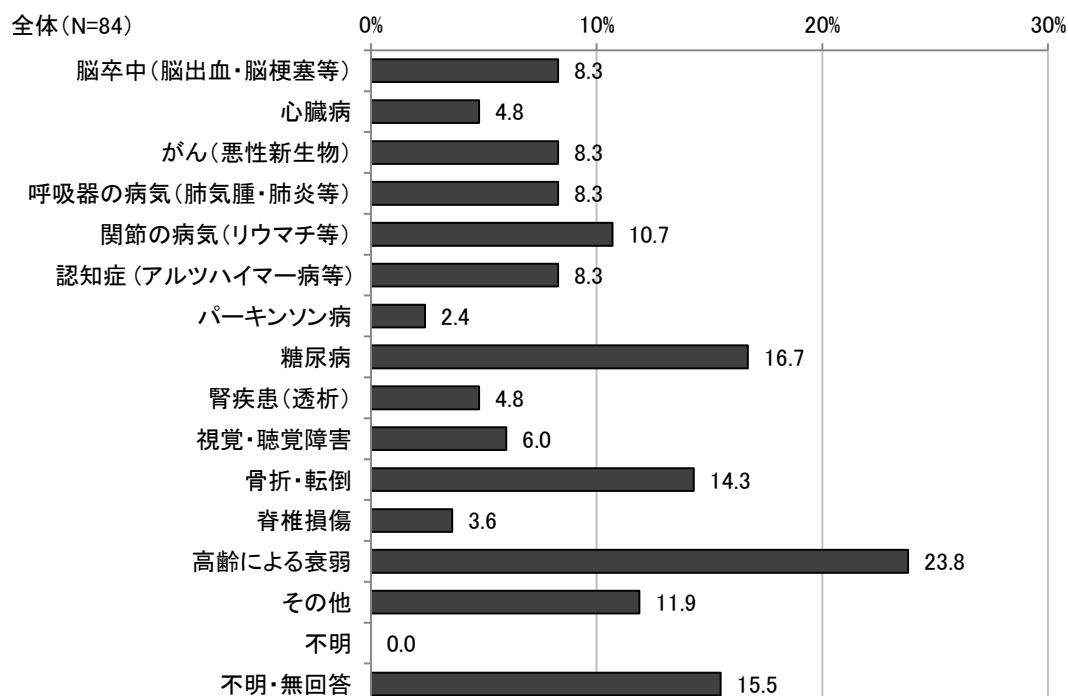
年齢別にみると、すべてにおいて「介護・介助は必要ない」が高くなっているものの、年齢が上がるごとに介護・介助が必要な方の割合は上昇傾向にあります。

上段:度数 下段:%		介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	不明・無回答
年齢別	全体	N=918 758 82.6	59 6.4	25 2.7	76 8.3
	65～74歳	N=328 305 93.0	9 2.7	5 1.5	9 2.7
	75～84歳	N=205 187 91.2	10 4.9	- -	8 3.9
	85歳以上	N=176 148 84.1	13 7.4	6 3.4	9 5.1
	不明・無回答	N=209 118 56.5	27 12.9	14 6.7	50 23.9

【(6) において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

(6) ①介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(複数回答)

介護・介助が必要になった主な原因についてみると、「高齢による衰弱」が 23.8%と最も高く、次いで「糖尿病」が 16.7%、「骨折・転倒」が 14.3%となっています。



■介護・介助が必要になった主な原因 × 性別

性別にみると、『男性』では「高齢による衰弱」、『女性』では「糖尿病」が高くなっています。

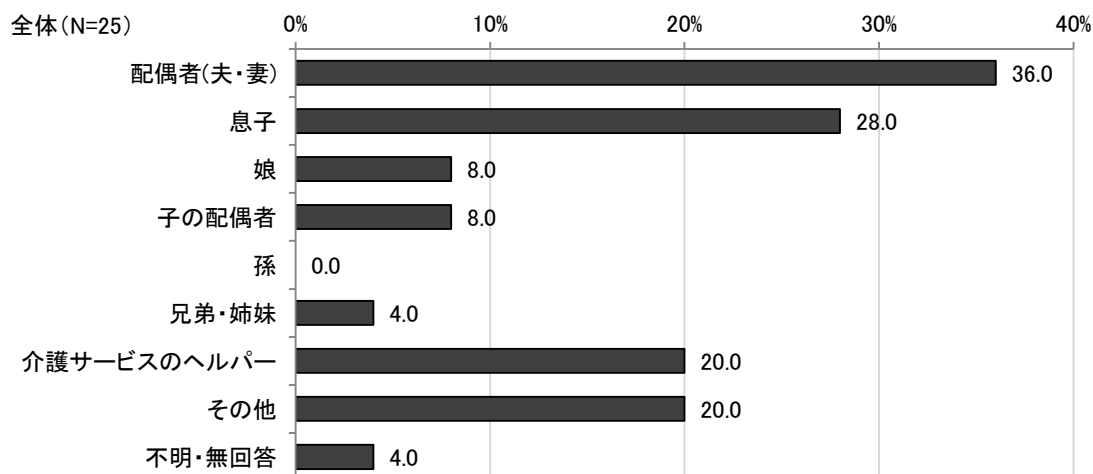
上段:度数 下段:%		脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
性別	全体 N=84	7 8.3	4 4.8	7 8.3	7 8.3	9 10.7	7 8.3	2 2.4	14 16.7
	男性 N=38	3 7.9	3 7.9	3 7.9	4 10.5	4 10.5	3 7.9	1 2.6	3 7.9
	女性 N=46	4 8.7	1 2.2	4 8.7	3 6.5	5 10.9	4 8.7	1 2.2	11 23.9

上段:度数 下段:%		腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明・無回答
性別	全体 N=84	4 4.8	5 6.0	12 14.3	3 3.6	20 23.8	10 11.9	13 15.5
	男性 N=38	2 5.3	-	5 13.2	2 5.3	11 28.9	3 7.9	7 18.4
	女性 N=46	2 4.3	5 10.9	7 15.2	1 2.2	9 19.6	7 15.2	6 13.0

【(6) において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

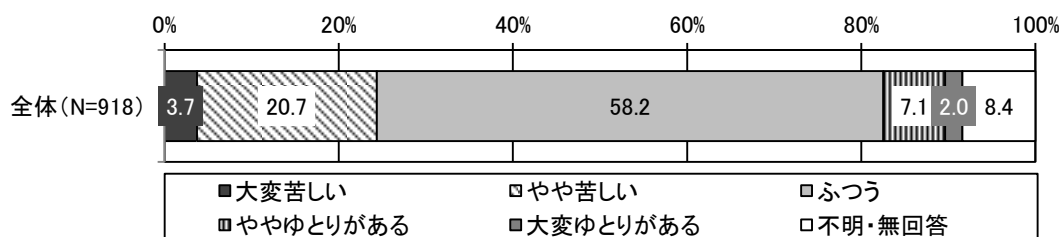
(6) ②主にどなたの介護・介助を受けていますか。(複数回答)

主な介護・介助者についてみると、「配偶者(夫・妻)」が36.0%と最も高く、次いで「息子」が28.0%となっています。



(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

経済状況についてみると、「ふつう」が58.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」が20.7%となっています。



■経済状況 × 要支援認定の有無別

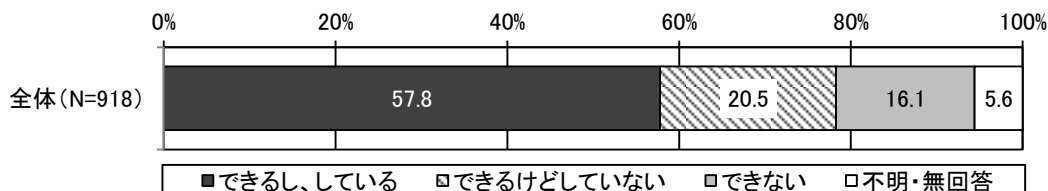
要支援認定の有無別にみると、『受けていない』『要支援1』では「ふつう」、『要支援2』では「やや苦しい」が高くなっており、支援が必要な方ほど、経済状況が苦しい傾向にあります。

上段:度数 下段:%		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	不明・無回答	
要支援認定の有無別	全体	N=918	34	190	534	65	18	77
			3.7	20.7	58.2	7.1	2.0	8.4
	受けていない	N=816	26	172	496	65	18	39
			3.2	21.1	60.8	8.0	2.2	4.8
	要支援1	N=37	4	8	23	-	-	2
			10.8	21.6	62.2	-	-	5.4
要支援2	N=13	2	6	5	-	-	-	
		15.4	46.2	38.5	-	-	-	
不明・無回答	N=52	2	4	10	-	-	36	
		3.8	7.7	19.2	-	-	69.2	

2. 問2 からだを動かすことや外出について

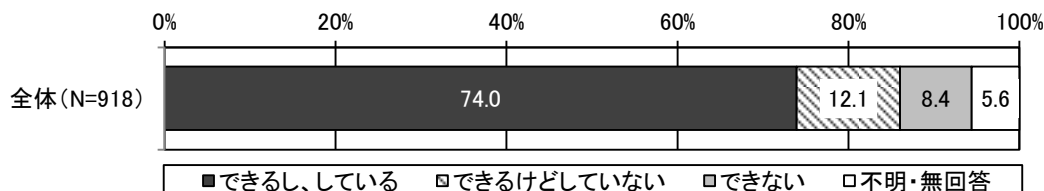
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(単数回答)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについてみると、「できるし、している」が57.8%と最も高くなっています。



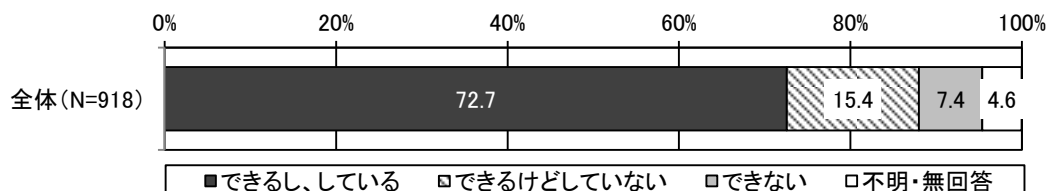
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(単数回答)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについてみると、「できるし、している」が74.0%と最も高くなっています。



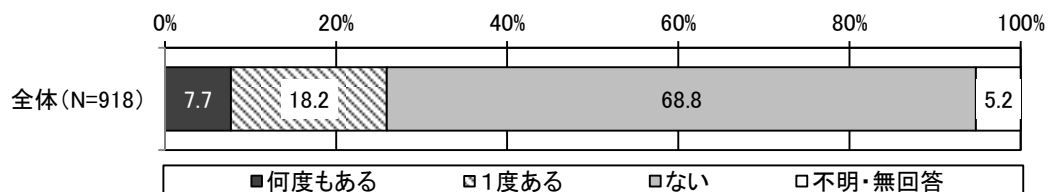
(3) 15分位続けて歩いていますか。(単数回答)

15分位続けて歩いているかについてみると、「できるし、している」が72.7%と最も高くなっています。



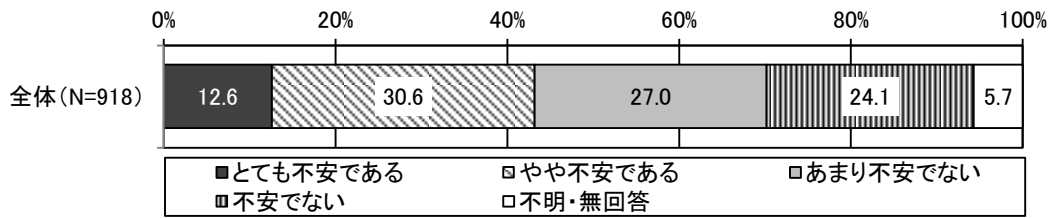
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(単数回答)

過去1年間に転んだ経験についてみると、「ない」が68.8%と最も高く、次いで「1度ある」が18.2%となっています。



(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(単数回答)

転倒に対する不安についてみると、「やや不安である」が 30.6%と最も高く、次いで「あまり不安でない」が 27.0%となっています。



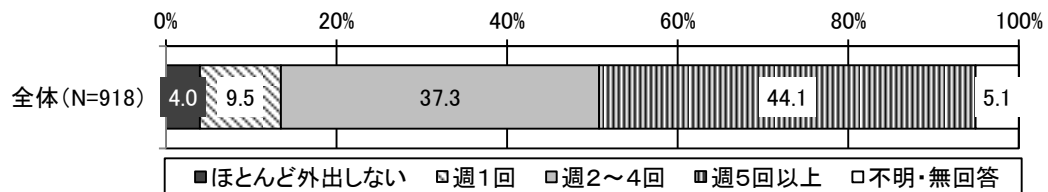
■転倒に対する不安 × 年齢別

年齢別にみると、『65～74歳』では「不安でない」、『75～84歳』では「あまり不安でない」、『85歳以上』では「やや不安である」が高くなっており、年齢が上がるほど、転倒に対する不安が大きくなる傾向にあります。

上段:度数 下段:%		とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	不明・無回答
年齢別	全体 N=918	116 12.6	281 30.6	248 27.0	221 24.1	52 5.7
	65～74歳 N=328	22 6.7	86 26.2	106 32.3	110 33.5	4 1.2
	75～84歳 N=205	22 10.7	58 28.3	64 31.2	53 25.9	8 3.9
	85歳以上 N=176	21 11.9	62 35.2	43 24.4	45 25.6	5 2.8
	不明・無回答 N=209	51 24.4	75 35.9	35 16.7	13 6.2	35 16.7

(6) 週に1回以上は外出していますか。(単数回答)

週に1回以上の外出の有無についてみると、「週5回以上」が 44.1%と最も高く、次いで「週2～4回」が 37.3%となっています。



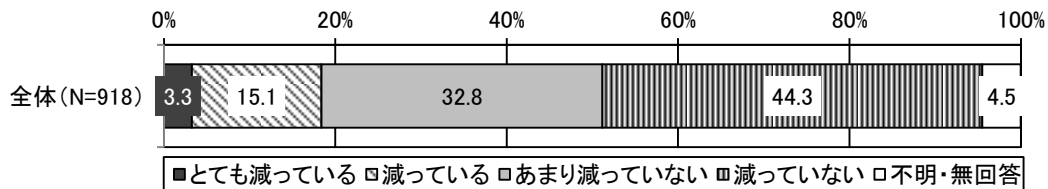
■週に1回以上は外出しているか × 経済状況別

経済状況別にみると、『やや苦しい』では「週2～4回」、それ以外では「週5回以上」が高くなっています。『大変苦しい』についても「週5回以上」が高くなっているものの、全体よりは低くなっています。

上段:度数 下段:%		ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	不明・無回答
経済状況別	全体 N=918	37 4.0	87 9.5	342 37.3	405 44.1	47 5.1
	大変苦しい N=34	4 11.8	8 23.5	10 29.4	12 35.3	-
	やや苦しい N=190	6 3.2	18 9.5	89 46.8	76 40.0	1 0.5
	ふつう N=534	22 4.1	51 9.6	209 39.1	247 46.3	5 0.9
	ややゆとりがある N=65	-	5 7.7	17 26.2	43 66.2	-
	大変ゆとりがある N=18	-	2 11.1	2 11.1	14 77.8	-
	不明・無回答 N=77	5 6.5	3 3.9	15 19.5	13 16.9	41 53.2

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(単数回答)

昨年と比べて外出の回数が減っているかについてみると、「減っていない」が44.3%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が32.8%となっています。



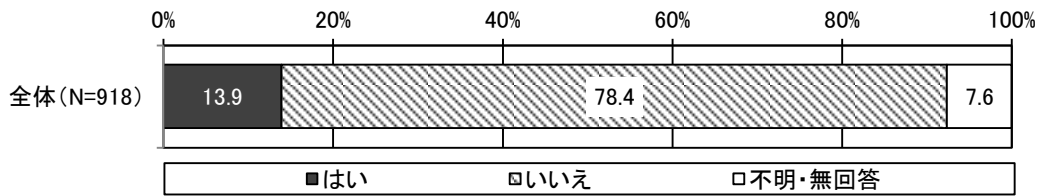
■昨年と比べて外出の回数が減っているか × 要支援認定の有無別

要支援認定の有無別にみると、『受けていない』では「減っていない」、それ以外では「減っている」が高くなっており、支援が必要な方ほど、外出の回数が減る傾向にあります。

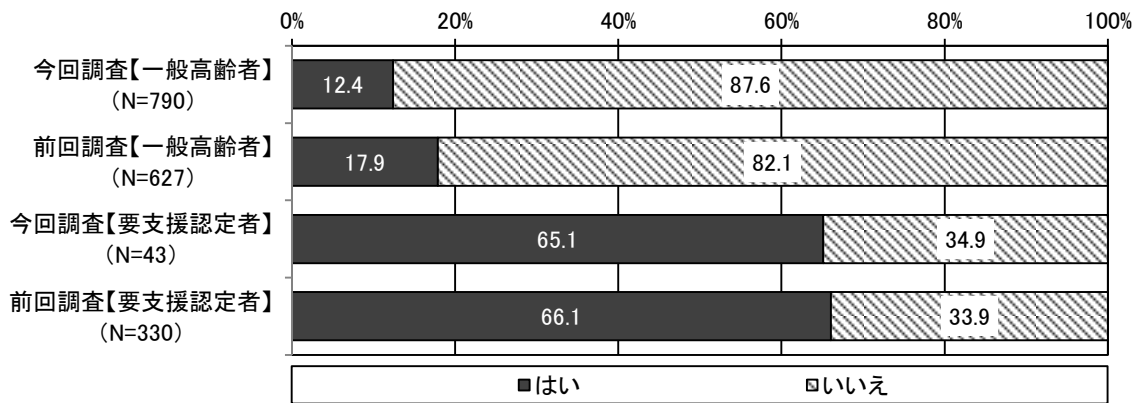
上段:度数 下段:%		ととも減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	不明・無回答
要支援認定の有無別	全体 N=918	30 3.3	139 15.1	301 32.8	407 44.3	41 4.5
	受けていない N=816	19 2.3	114 14.0	279 34.2	396 48.5	8 1.0
	要支援1 N=37	9 24.3	13 35.1	12 32.4	2 5.4	1 2.7
	要支援2 N=13	2 15.4	8 61.5	3 23.1	-	-
	不明・無回答 N=52	-	4 7.7	7 13.5	9 17.3	32 61.5

(8) 外出を控えていますか。(単数回答)

外出を控えているかについてみると、「いいえ」が78.4%となっています。前回調査との比較をみると、一般高齢者、要支援認定者ともに「はい」が減少しています。



■前回調査との比較 (不明・無回答を除く)



■外出を控えているか × 地区別

地区別にみると、すべてにおいて「いいえ」が高くなっている一方で、『吉身学区』『玉津学区』『河西学区』『中洲学区』では、全体よりも「はい」が高くなっています。

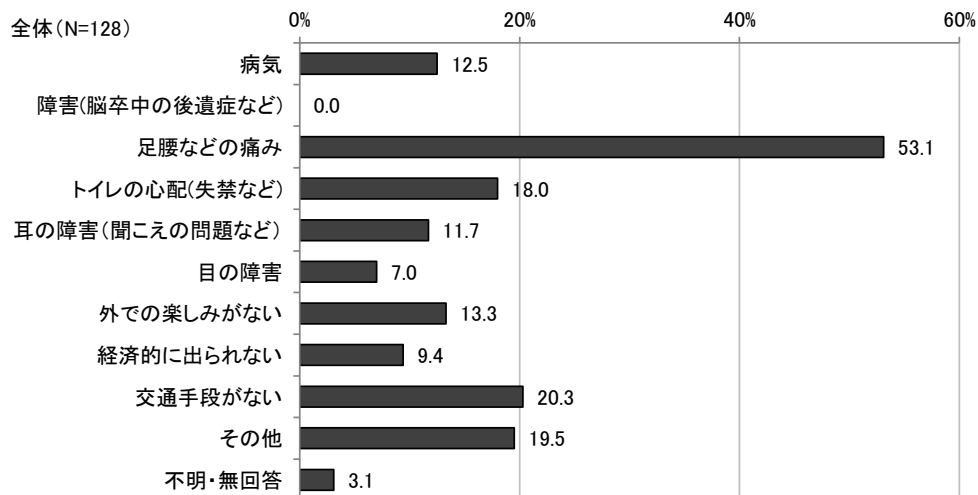
上段:度数 下段:%	はい	いいえ	不明・無回答
全体 N=918	128 13.9	720 78.4	70 7.6
守山学区 N=240	32 13.3	201 83.8	7 2.9
吉身学区 N=162	33 20.4	120 74.1	9 5.6
小津学区 N=92	8 8.7	81 88.0	3 3.3
玉津学区 N=57	13 22.8	40 70.2	4 7.0
河西学区 N=172	24 14.0	141 82.0	7 4.1
速野学区 N=112	10 8.9	95 84.8	7 6.3
中洲学区 N=44	8 18.2	33 75.0	3 6.8
不明・無回答 N=39	-	9 23.1	30 76.9

※全体よりも高いものだけ色付けしています

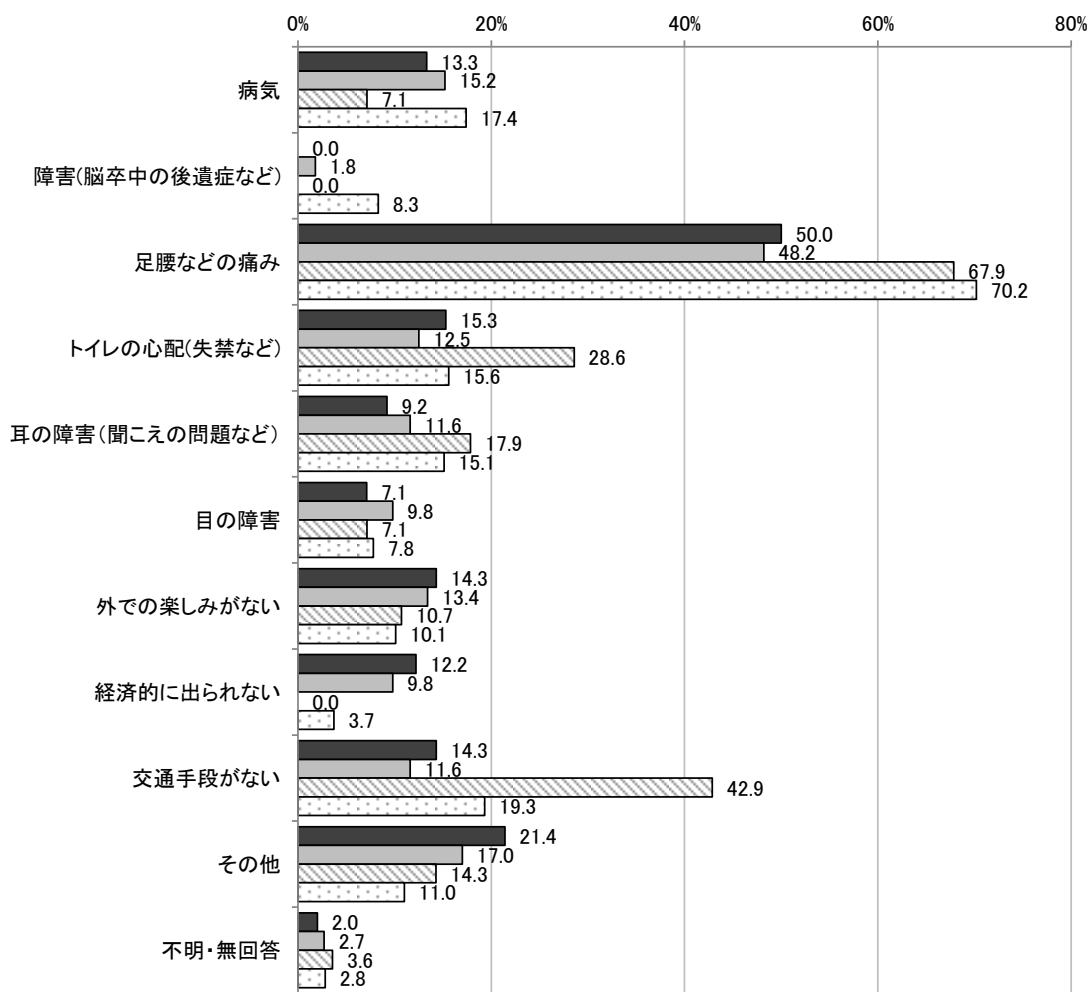
【(8)で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

(8) ①外出を控えている理由は、次のどれですか。(複数回答)

外出を控えている理由についてみると、「足腰などの痛み」が53.1%と最も高く、次いで「交通手段がない」が20.3%となっています。前回調査との比較をみると、『要支援認定者』では「トイレの心配(失禁など)」「交通手段がない」が大幅に増加しています。



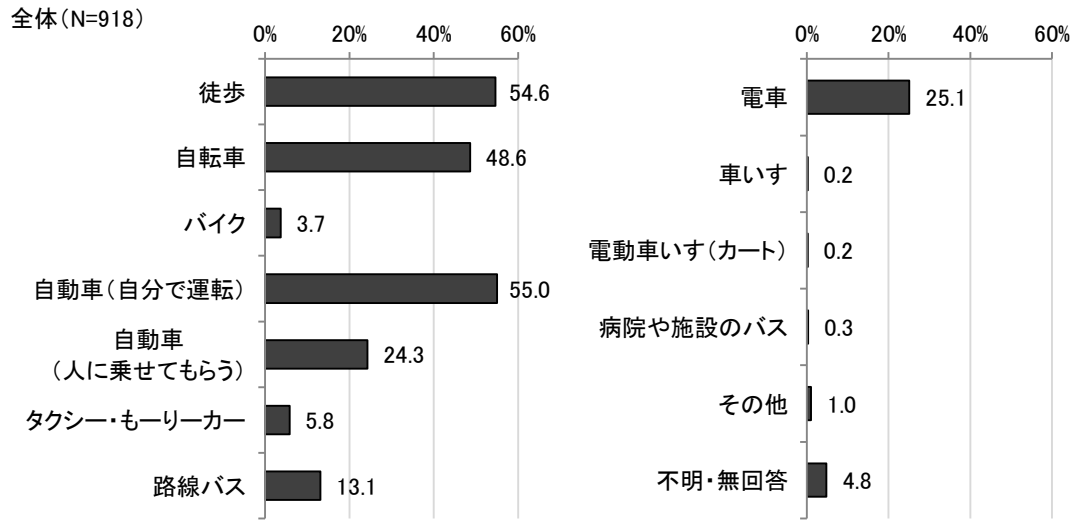
■前回調査との比較



■今回調査【一般高齢者】 (N=98) □前回調査【一般高齢者】 (N=112) □今回調査【要支援認定者】 (N=28) □前回調査【要支援認定者】 (N=218)

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(複数回答)

外出する際の移動手段についてみると、「自動車(自分で運転)」が55.0%と最も高く、次いで「徒歩」が54.6%、「自転車」が48.6%となっています。



■ 外出する際の移動手段 × 性別

性別にみると、『男性』では「自動車(自分で運転)」、『女性』では「徒歩」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	タクシー・モーリーカー	路線バス
性別	全体 N=918	501 54.6	446 48.6	34 3.7	505 55.0	223 24.3	53 5.8	120 13.1
	男性 N=428	259 60.5	232 54.2	15 3.5	332 77.6	51 11.9	21 4.9	48 11.2
	女性 N=454	241 53.1	210 46.3	19 4.2	170 37.4	171 37.7	31 6.8	71 15.6
	不明・無回答 N=36	1 2.8	4 11.1	-	3 8.3	1 2.8	1 2.8	1 2.8

上段:度数 下段:%		電車	車いす	電動車いす(カート)	病院や施設のバス	その他	不明・無回答
性別	全体 N=918	230 25.1	2 0.2	2 0.2	3 0.3	9 1.0	44 4.8
	男性 N=428	106 24.8	1 0.2	-	1 0.2	2 0.5	8 1.9
	女性 N=454	124 27.3	1 0.2	2 0.4	2 0.4	6 1.3	8 1.8
	不明・無回答 N=36	-	-	-	-	1 2.8	28 77.8

■外出する際の移動手段 × 地区別

地区別にみると、『守山学区』『吉身学区』では「徒歩」、それ以外では「自動車（自分で運転）」が高くなっています。

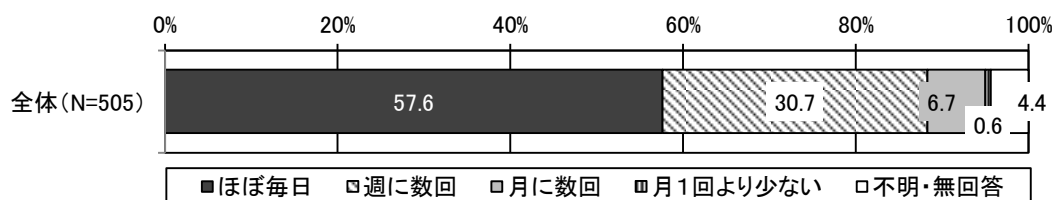
上段:度数 下段:%		徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に 乗せてもらう)	タクシー・モ ーターカー	路線バス	
お 住 ま い の 地 区 別	全体	N=918	501 54.6	446 48.6	34 3.7	505 55.0	223 24.3	53 5.8	120 13.1
	守山学区	N=240	150 62.5	115 47.9	7 2.9	127 52.9	54 22.5	13 5.4	13 5.4
	吉身学区	N=162	104 64.2	93 57.4	2 1.2	79 48.8	39 24.1	17 10.5	23 14.2
	小津学区	N=92	54 58.7	54 58.7	8 8.7	60 65.2	20 21.7	5 5.4	19 20.7
	玉津学区	N=57	27 47.4	30 52.6	2 3.5	35 61.4	19 33.3	5 8.8	8 14.0
	河西学区	N=172	90 52.3	87 50.6	5 2.9	105 61.0	45 26.2	7 4.1	19 11.0
	速野学区	N=112	55 49.1	52 46.4	9 8.0	67 59.8	30 26.8	3 2.7	31 27.7
	中洲学区	N=44	14 31.8	12 27.3	1 2.3	29 65.9	12 27.3	2 4.5	5 11.4
	不明・無回答	N=39	7 17.9	3 7.7	- -	3 7.7	4 10.3	1 2.6	2 5.1

上段:度数 下段:%		電車	車いす	電動車いす (カート)	病院や施設の バス	その他	不明・無回答	
お 住 ま い の 地 区 別	全体	N=918	230 25.1	2 0.2	2 0.2	3 0.3	9 1.0	44 4.8
	守山学区	N=240	78 32.5	1 0.4	- -	2 0.8	3 1.3	6 2.5
	吉身学区	N=162	57 35.2	1 0.6	- -	- -	1 0.6	3 1.9
	小津学区	N=92	28 30.4	- -	- -	- -	2 2.2	1 1.1
	玉津学区	N=57	12 21.1	- -	- -	- -	- -	1 1.8
	河西学区	N=172	31 18.0	- -	1 0.6	1 0.6	1 0.6	3 1.7
	速野学区	N=112	22 19.6	- -	- -	- -	- -	1 0.9
	中洲学区	N=44	2 4.5	- -	1 2.3	- -	2 4.5	1 2.3
	不明・無回答	N=39	- -	- -	- -	- -	- -	28 71.8

【(9) で「自動車（自分で運転）」の方のみ】

(10) ①あなたは自動車の運転をどの程度されていますか。(単数回答)

自動車の運転の程度についてみると、「ほぼ毎日」が57.6%と最も高く、次いで「週に数回」が30.7%となっています。



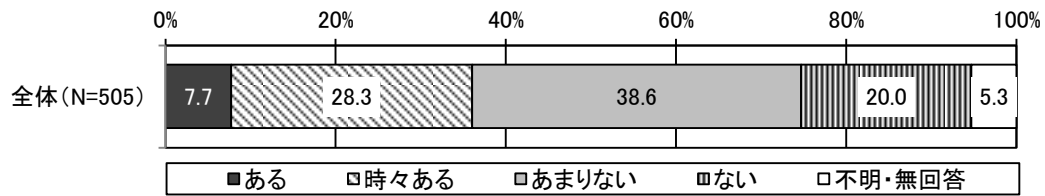
■自動車を運転する頻度 × 地区別

地区別にみると、『吉身学区』では「週に数回」、それ以外では「ほぼ毎日」が高くなっており、特に『中洲学区』において最も高くなっています。

上段:度数 下段:%		ほぼ毎日	週に数回	月に数回	月1回より少ない	不明・無回答
お住まいの地区別	全体 N=505	291 57.6	155 30.7	34 6.7	3 0.6	22 4.4
	守山学区 N=127	68 53.5	40 31.5	11 8.7	1 0.8	7 5.5
	吉身学区 N=79	33 41.8	36 45.6	5 6.3	1 1.3	4 5.1
	小津学区 N=60	37 61.7	15 25.0	3 5.0	1 1.7	4 6.7
	玉津学区 N=35	19 54.3	14 40.0	1 2.9	-	1 2.9
	河西学区 N=105	69 65.7	25 23.8	8 7.6	-	3 2.9
	速野学区 N=67	40 59.7	19 28.4	6 9.0	-	2 3.0
	中洲学区 N=29	23 79.3	5 17.2	-	-	1 3.4
	不明・無回答 N=3	2 66.7	1 33.3	-	-	-

(10) ②あなたは自動車を運転する時、若い頃と比べて不安を感じることはありますか。(単数回答)

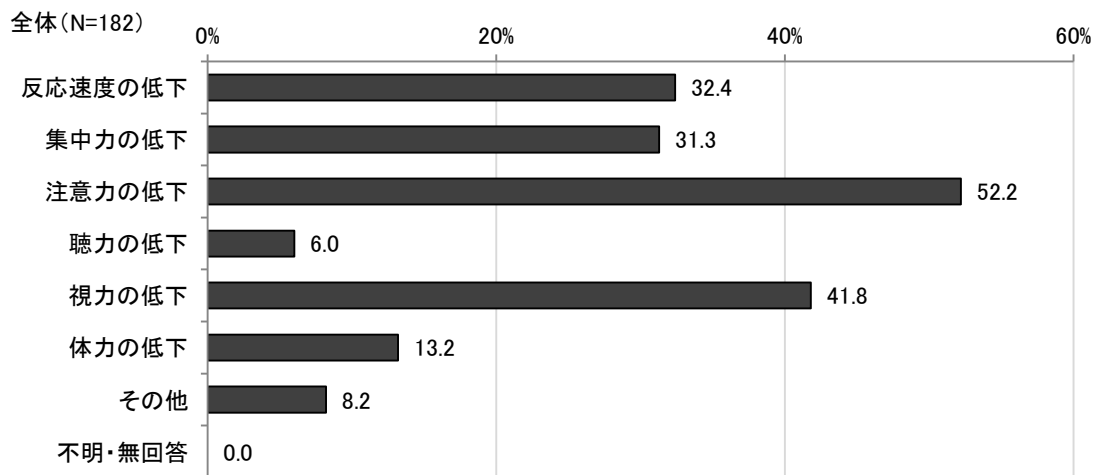
自動車を運転する時の不安感についてみると、「あまりない」が 38.6%と最も高く、次いで「時々ある」が 28.3%となっています。



【(10) ②で「ある」または「時々ある」の方のみ】

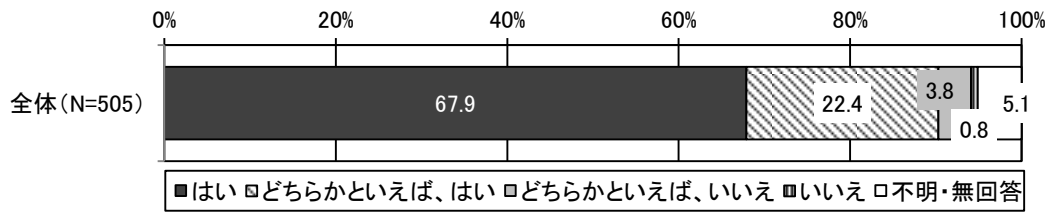
(10) ③運転時に感じる不安はどのようなことですか。(複数回答)

運転時に感じる不安についてみると、「注意力の低下」が 52.2%と最も高く、次いで「視力の低下」が 41.8%、「反応速度の低下」が 32.4%となっています。



(10) ④あなたにとって自動車の利用は、生活に欠かせませんか。(単数回答)

自動車の利用が生活に欠かせないかについてみると、「はい」が 67.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、はい」が 22.4%となっています。



■自動車の利用は生活に欠かせないか × 地区別

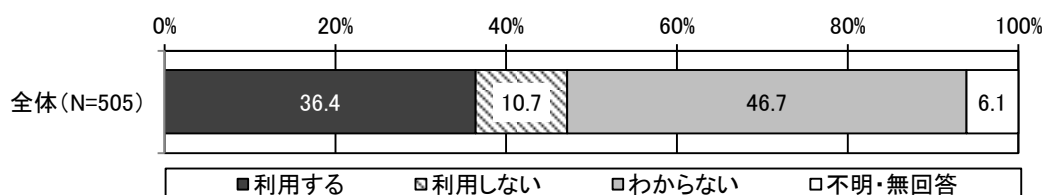
地区別にみると、すべてにおいて「はい」が高くなっており、特に『玉津学区』において、「はい」と「どちらかといえば、はい」の合計が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%		はい	どちらかとい えば、はい	どちらかとい えば、いいえ	いいえ	不明・無回答
お 住 ま い の 地 区 別	全体 N=505	343 67.9	113 22.4	19 3.8	4 0.8	26 5.1
	守山学区 N=127	88 69.3	29 22.8	1 0.8	1 0.8	8 6.3
	吉身学区 N=79	37 46.8	29 36.7	5 6.3	1 1.3	7 8.9
	小津学区 N=60	44 73.3	10 16.7	4 6.7	-	2 3.3
	玉津学区 N=35	26 74.3	7 20.0	-	-	2 5.7
	河西学区 N=105	71 67.6	22 21.0	7 6.7	1 1.0	4 3.8
	速野学区 N=67	50 74.6	13 19.4	2 3.0	-	2 3.0
	中洲学区 N=29	25 86.2	2 6.9	-	1 3.4	1 3.4
	不明・無回答 N=3	2 66.7	1 33.3	-	-	-

(10) ⑤運転免許証の自主返納制度がありますが、あなたは将来的に利用しようと思われませんか。

(単数回答)

運転免許証の自主返納制度の利用意向についてみると、「わからない」が46.7%と最も高く、次いで「利用する」が36.4%となっています。



■運転免許証の自主返納制度を将来的に利用しますか × 地区別

地区別にみると、すべてにおいて「わからない」が高くなっています。また、「利用する」については『小津学区』、「利用しない」については『玉津学区』において最も高くなっています。

上段:度数 下段:%		利用する	利用しない	わからない	不明・無回答
お住 まい の 地 区 別	全体 N=505	184 36.4	54 10.7	236 46.7	31 6.1
	守山学区 N=127	48 37.8	11 8.7	60 47.2	8 6.3
	吉身学区 N=79	31 39.2	6 7.6	38 48.1	4 5.1
	小津学区 N=60	25 41.7	5 8.3	28 46.7	2 3.3
	玉津学区 N=35	9 25.7	8 22.9	15 42.9	3 8.6
	河西学区 N=105	37 35.2	9 8.6	50 47.6	9 8.6
	速野学区 N=67	23 34.3	9 13.4	32 47.8	3 4.5
	中洲学区 N=29	11 37.9	3 10.3	13 44.8	2 6.9
	不明・無回答 N=3	-	3 100.0	-	-

(10) ⑥あなたが、今後運転免許証を返納することになった場合、どのような支援が必要だと思いますか。(自由記述)

■必要な支援（上位5位）

支援内容	件数
バスの充実	59
公共交通機関の運賃の値引き	54
公共交通機関の充実	42
タクシー券の配布(運賃補助)	39
移送サービスの充実	39

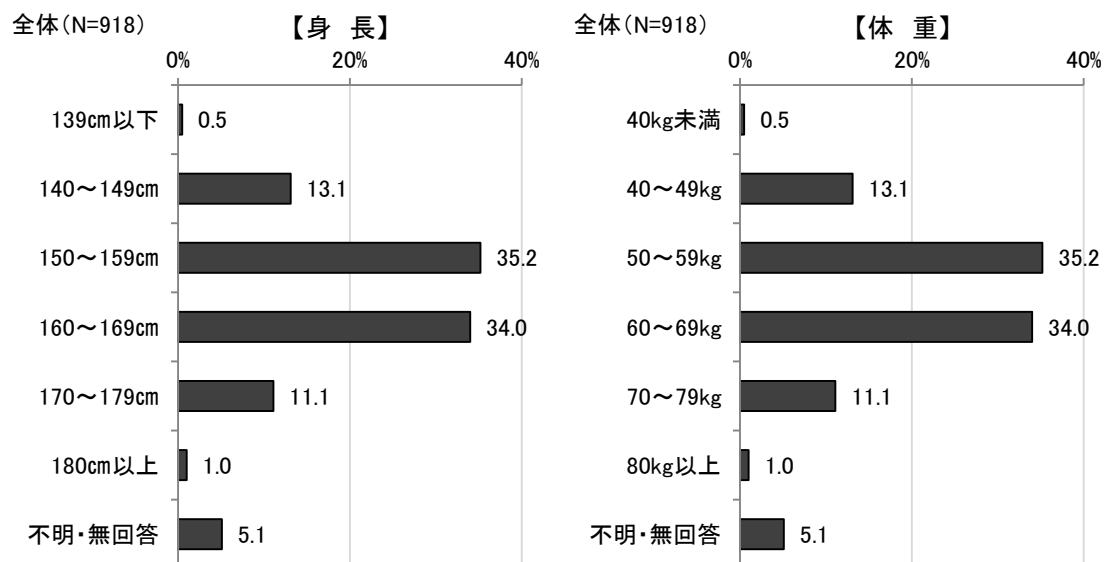
3. 問3 食べることについて

(1) 身長・体重（数量回答）

身長についてみると、「150～159cm」が35.2%と最も高く、次いで「160～169cm」が34.0%となっています。

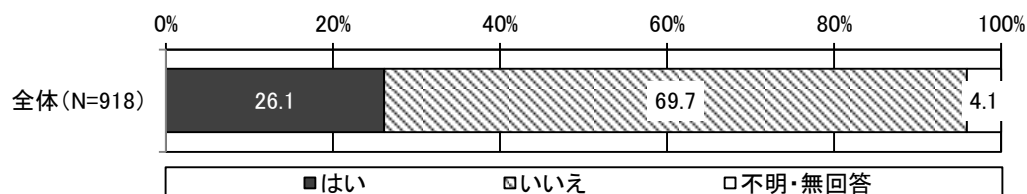
体重についてみると、「50～59kg」が35.2%、「60～69kg」が34.0%となっています。

※今後、BMIによる割合を算出する予定です



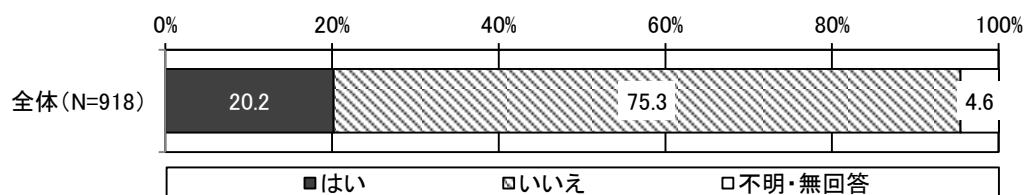
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（単数回答）

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについてみると、「いいえ」が69.7%となっています。



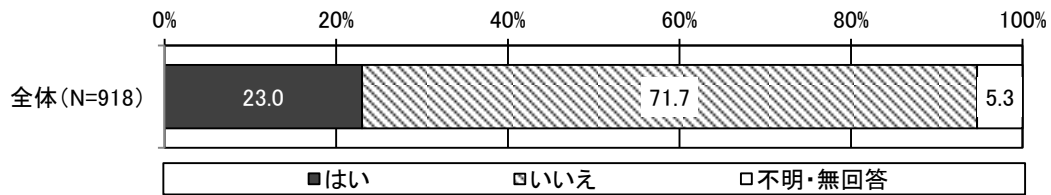
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。（単数回答）

お茶や汁物等でむせることがあるかについてみると、「いいえ」が75.3%となっています。



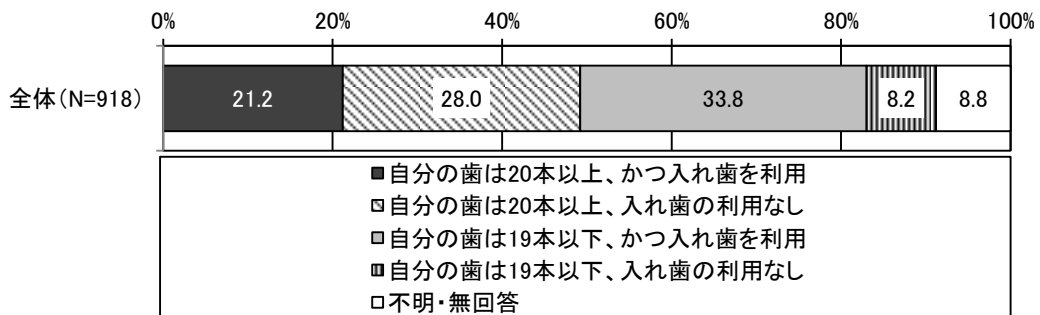
(4) 口の渇きが気になりますか。(単数回答)

口の渇きが気になるかについてみると、「いいえ」が71.7%となっています。



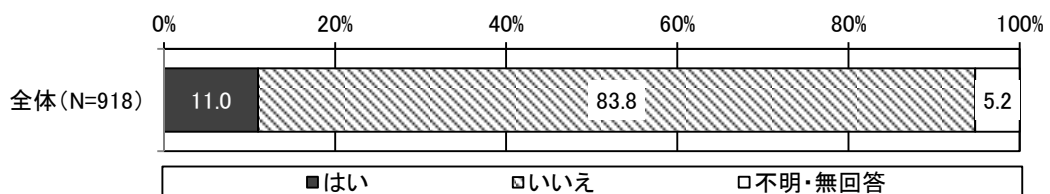
(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(単数回答)

歯の数と入れ歯の利用状況についてみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.8%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が28.0%となっています。



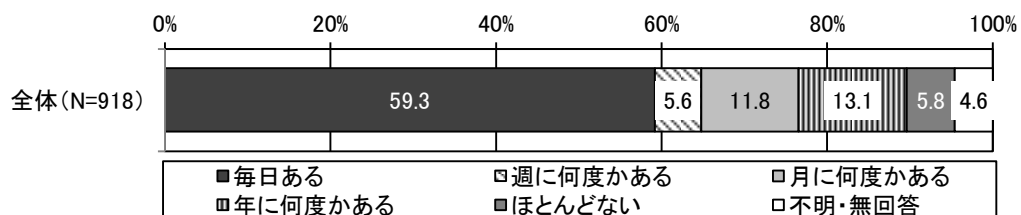
(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(単数回答)

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについてみると、「いいえ」が83.8%となっています。



(7) どなたかと食事をとる機会がありますか。(単数回答)

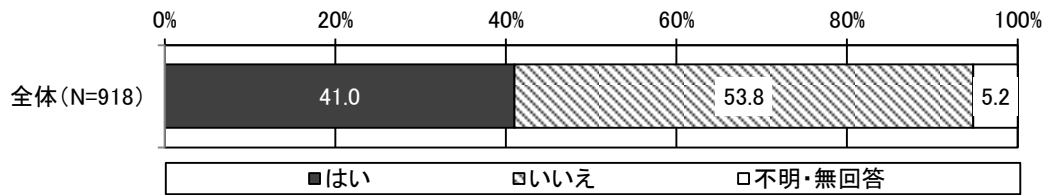
どなたかと食事をとる機会についてみると、「毎日ある」が59.3%と最も高く、次いで「年に何度かある」が13.1%となっています。



4. 問4 毎日の生活について

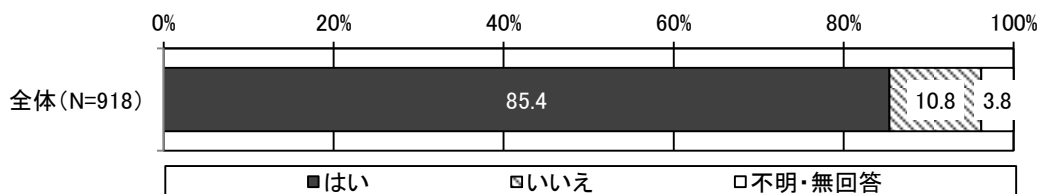
(1) 物忘れが多いと感じますか。(単数回答)

物忘れが多いと感じるかについてみると、「いいえ」が53.8%となっています。



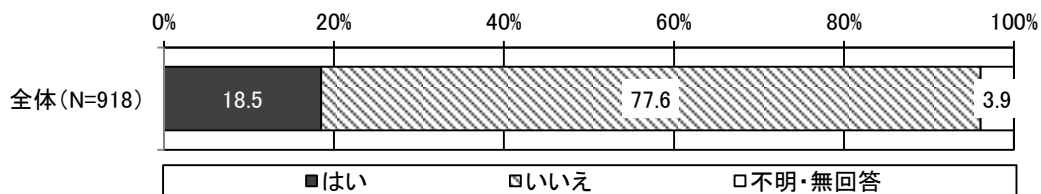
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(単数回答)

自分で電話番号を調べて、電話をかけているかについてみると、「はい」が85.4%となっています。



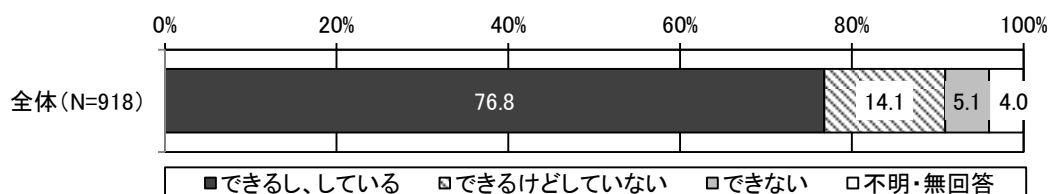
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(単数回答)

今日が何月何日かわからない時があるかについてみると、「いいえ」が77.6%となっています。



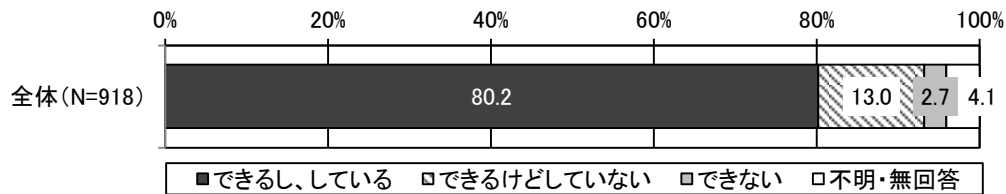
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (単数回答)

バスや電車を使って1人で外出しているかについてみると、「できるし、している」が76.8%と最も高くなっています。



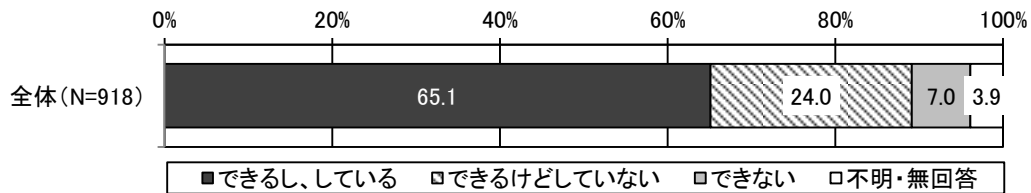
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(単数回答)

自分で食品・日用品の買物をしているかについてみると、「できるし、している」が 80.2%と最も高くなっています。



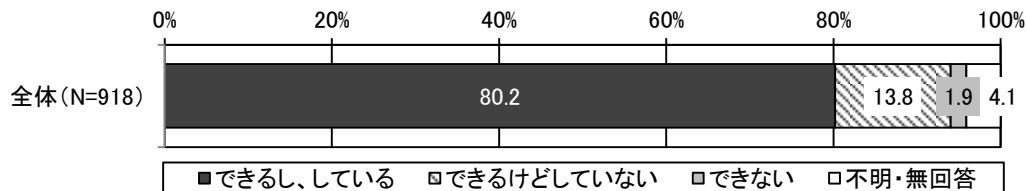
(6) 自分で食事の用意をしていますか。(単数回答)

自分で食事の用意をしているかについてみると、「できるし、している」が 65.1%と最も高くなっています。



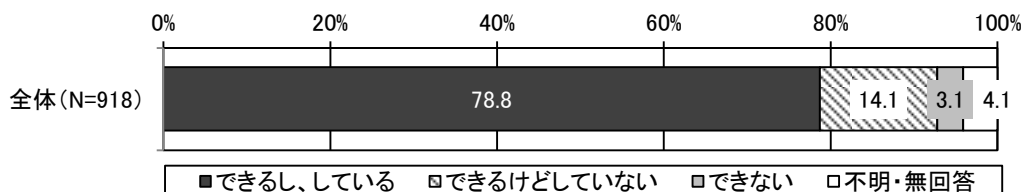
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(単数回答)

自分で請求書の支払いをしているかについてみると、「できるし、している」が 80.2%と最も高くなっています。



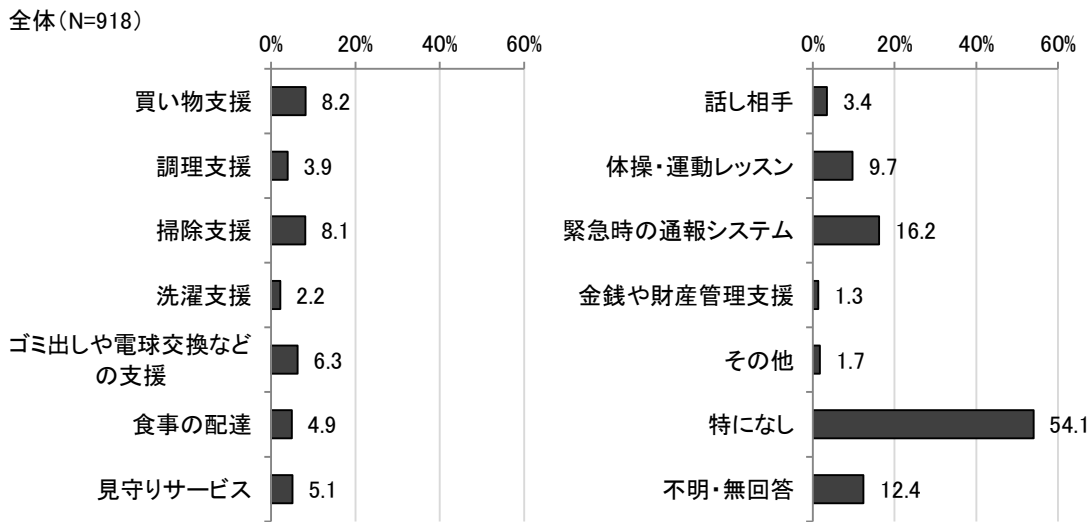
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(単数回答)

自分で預貯金の出し入れをしているかについてみると、「できるし、している」が 78.8%と最も高くなっています。



(9) 日常生活を送る上で、どのようなサービスや支援を利用したいですか。(複数回答)

利用したいサービスや支援についてみると、「特になし」が54.1%と最も高く、次いで「緊急時の通報システム」が16.2%、「体操・運動レッスン」が9.7%となっています。



■利用したいサービスや支援 × 要支援認定の有無別

要支援認定の有無別にみると、「特になし」を除いては、『受けていない』では「緊急時の通報システム」、『要支援1』では「ゴミ出しや電球交換などの支援」、『要支援2』では「掃除支援」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		買い物支援	調理支援	掃除支援	洗濯支援	ゴミ出しや電球交換などの支援	食事の配達	見守りサービス	
要支援認定の有無別	全体	N=918	75 8.2	36 3.9	74 8.1	20 2.2	58 6.3	45 4.9	47 5.1
	受けていない	N=816	58 7.1	28 3.4	54 6.6	12 1.5	38 4.7	34 4.2	37 4.5
	要支援1	N=37	7 18.9	3 8.1	7 18.9	3 8.1	8 21.6	5 13.5	4 10.8
	要支援2	N=13	3 23.1	2 15.4	6 46.2	3 23.1	5 38.5	2 15.4	3 23.1
	不明・無回答	N=52	7 13.5	3 5.8	7 13.5	2 3.8	7 13.5	4 7.7	3 5.8

上段:度数 下段:%		話し相手	体操・運動レッスン	緊急時の通報システム	金銭や財産管理支援	その他	特になし	不明・無回答	
要支援認定の有無別	全体	N=918	31 3.4	89 9.7	149 16.2	12 1.3	16 1.7	497 54.1	114 12.4
	受けていない	N=816	24 2.9	72 8.8	138 16.9	9 1.1	15 1.8	459 56.3	97 11.9
	要支援1	N=37	3 8.1	7 18.9	4 10.8	2 5.4	-	15 40.5	3 8.1
	要支援2	N=13	1 7.7	3 23.1	2 15.4	-	1 7.7	3 23.1	1 7.7
	不明・無回答	N=52	3 5.8	7 13.5	5 9.6	1 1.9	-	20 38.5	13 25.0

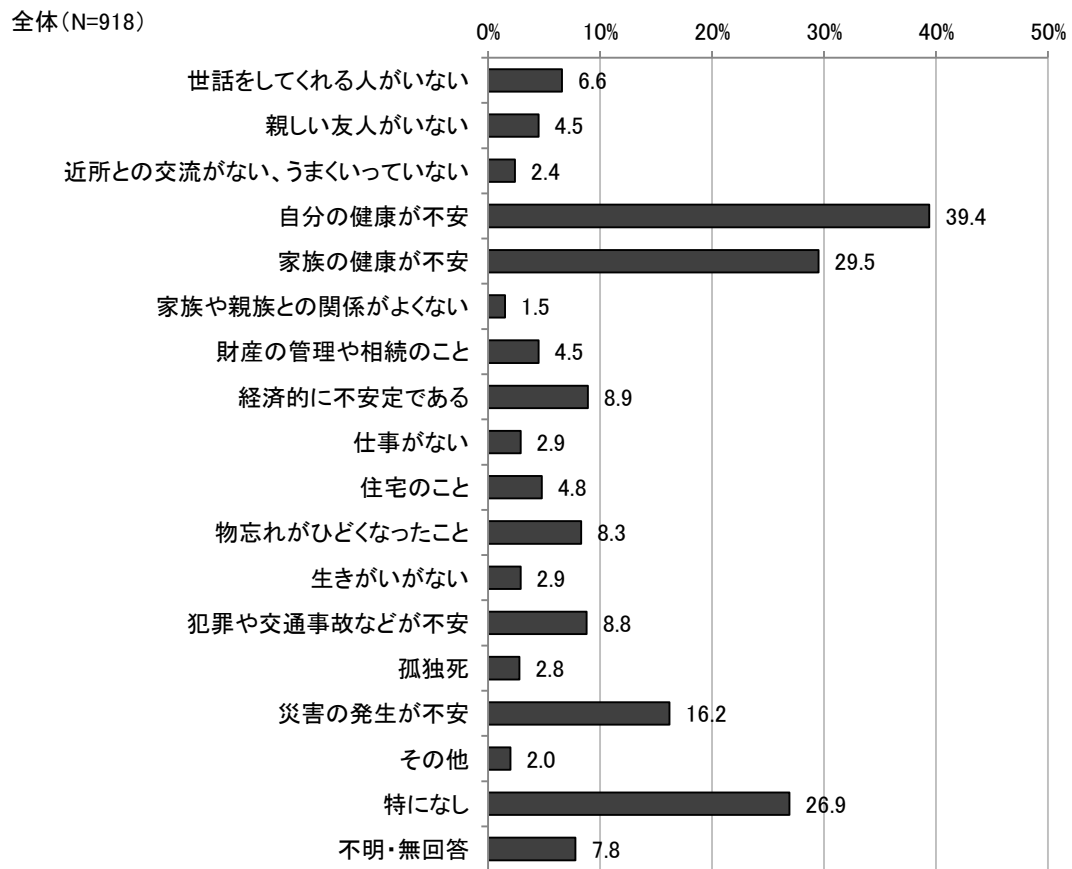
■利用したいサービスや支援 × 家族構成別

家族構成にみると、「特になし」を除いては、すべてにおいて「緊急時の通報システム」が高くなっており、『1人暮らし』では全体よりも特に高くなっています。

上段:度数 下段:%		買い物支援	調理支援	掃除支援	洗濯支援	ゴミ出しや電 球交換など の支援	食事の配達	見守りサービ ス
家族 構成 別	全体 N=918	75 8.2	36 3.9	74 8.1	20 2.2	58 6.3	45 4.9	47 5.1
	1人暮らし N=94	11 11.7	5 5.3	10 10.6	3 3.2	11 11.7	10 10.6	8 8.5
	夫婦2人暮らし(配 偶者65歳以上) N=348	27 7.8	15 4.3	31 8.9	3 0.9	21 6.0	15 4.3	16 4.6
	夫婦2人暮らし(配 偶者64歳以下) N=66	3 4.5	1 1.5	3 4.5	1 1.5	1 1.5	3 4.5	3 4.5
	息子・娘との同居 (2世帯を含む) N=278	25 9.0	9 3.2	20 7.2	7 2.5	12 4.3	12 4.3	15 5.4
	その他 N=84	5 6.0	4 4.8	6 7.1	4 4.8	6 7.1	2 2.4	3 3.6
	不明・無回答 N=48	4 8.3	2 4.2	4 8.3	2 4.2	7 14.6	3 6.3	2 4.2
上段:度数 下段:%		話し相手	体操・運動 レッスン	緊急時の通 報システム	金銭や財産 管理支援	その他	特になし	不明・無回答
家族 構成 別	全体 N=918	31 3.4	89 9.7	149 16.2	12 1.3	16 1.7	497 54.1	114 12.4
	1人暮らし N=94	7 7.4	16 17.0	32 34.0	2 2.1	3 3.2	35 37.2	5 5.3
	夫婦2人暮らし(配 偶者65歳以上) N=348	7 2.0	37 10.6	59 17.0	2 0.6	5 1.4	199 57.2	34 9.8
	夫婦2人暮らし(配 偶者64歳以下) N=66	1 1.5	4 6.1	8 12.1	2 3.0	2 3.0	43 65.2	9 13.6
	息子・娘との同居 (2世帯を含む) N=278	9 3.2	17 6.1	32 11.5	2 0.7	3 1.1	158 56.8	41 14.7
	その他 N=84	4 4.8	8 9.5	10 11.9	3 3.6	2 2.4	43 51.2	15 17.9
	不明・無回答 N=48	3 6.3	7 14.6	8 16.7	1 2.1	1 2.1	19 39.6	10 20.8

(10) 日常生活を送る上で、将来、不安や心配されていることはありますか。(複数回答)

将来、不安や心配されていることについてみると、「自分の健康が不安」が 39.4%と最も高く、次いで「家族の健康が不安」が 29.5%、「特になし」が 26.9%となっています。

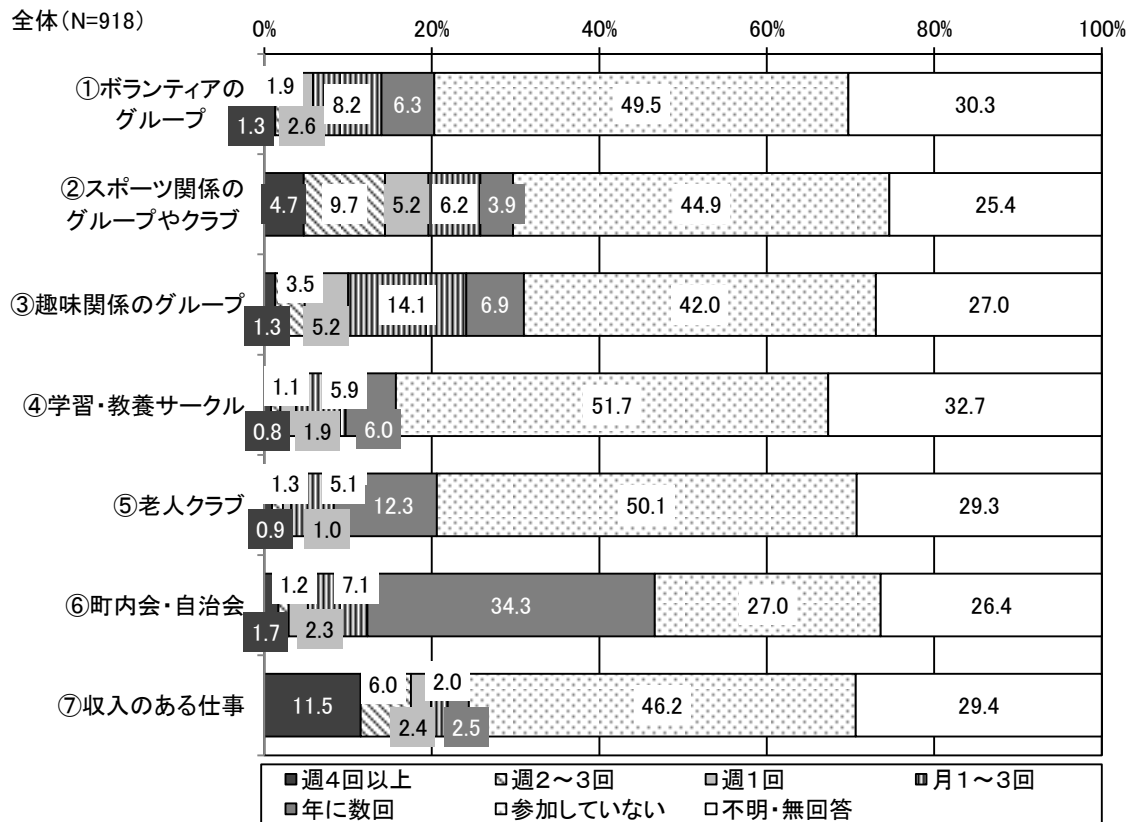


5. 問5 地域での活動等について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(① - ⑦それぞれに単数回答)

会・グループ等への参加頻度についてみると、『町内会・自治会』を除いては、「参加していない」が最も高くなっています。



■⑤老人クラブ × 地区別

老人クラブについて、地区別にみると、『中洲学区』では「年に数回」、それ以外では「参加していない」が高くなっています。

上段:度数 下段:%			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加してない	不明・無回答
お住まいの地区別	全体	N=918	8 0.9	12 1.3	9 1.0	47 5.1	113 12.3	460 50.1	269 29.3
	守山学区	N=240	2 0.8	3 1.3	- -	2 0.8	22 9.2	128 53.3	83 34.6
	吉身学区	N=162	- -	2 1.2	- -	5 3.1	16 9.9	90 55.6	49 30.2
	小津学区	N=92	1 1.1	- -	1 1.1	12 13.0	14 15.2	42 45.7	22 23.9
	玉津学区	N=57	- -	1 1.8	2 3.5	7 12.3	9 15.8	26 45.6	12 21.1
	河西学区	N=172	3 1.7	2 1.2	3 1.7	7 4.1	18 10.5	89 51.7	50 29.1
	速野学区	N=112	1 0.9	3 2.7	2 1.8	6 5.4	10 8.9	58 51.8	32 28.6
	中洲学区	N=44	- -	- -	1 2.3	6 13.6	17 38.6	11 25.0	9 20.5
	不明・無回答	N=39	1 2.6	1 2.6	- -	2 5.1	7 17.9	16 41.0	12 30.8

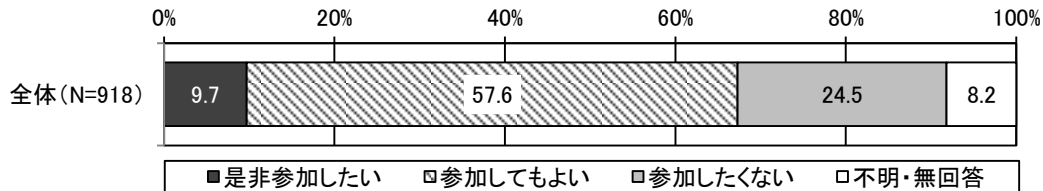
■⑥町内会・自治会 × 地区別

町内会・自治会について、地区別にみると、『守山学区』『吉身学区』『速野学区』では「参加していない」、それ以外では「年に数回」が高くなっています。

上段:度数 下段:%			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加してない	不明・無回答
お住まいの地区別	全体	N=918	16 1.7	11 1.2	21 2.3	65 7.1	315 34.3	248 27.0	242 26.4
	守山学区	N=240	4 1.7	4 1.7	6 2.5	16 6.7	69 28.8	74 30.8	67 27.9
	吉身学区	N=162	3 1.9	2 1.2	3 1.9	7 4.3	47 29.0	53 32.7	47 29.0
	小津学区	N=92	1 1.1	1 1.1	2 2.2	8 8.7	41 44.6	20 21.7	19 20.7
	玉津学区	N=57	- -	- -	- -	5 8.8	25 43.9	11 19.3	16 28.1
	河西学区	N=172	3 1.7	1 0.6	5 2.9	12 7.0	66 38.4	41 23.8	44 25.6
	速野学区	N=112	4 3.6	1 0.9	5 4.5	11 9.8	34 30.4	35 31.3	22 19.6
	中洲学区	N=44	- -	1 2.3	- -	4 9.1	20 45.5	6 13.6	13 29.5
	不明・無回答	N=39	1 2.6	1 2.6	- -	2 5.1	13 33.3	8 20.5	14 35.9

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

いきいきした地域づくりへの参加者としての参加意向についてみると、「参加してもよい」が57.6%と最も高く、次いで「参加したくない」が24.5%となっています。



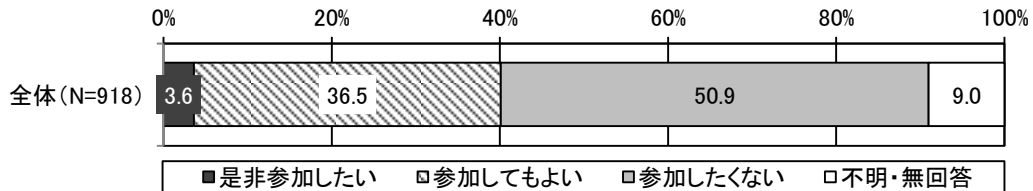
■いきいきした地域づくりに参加者として参加してみたいか × 地区別

地区別にみると、すべてにおいて「参加してもよい」が高くなっており、『速野学区』では「是非参加したい」「参加してもよい」の合計が全体よりも特に高くなっています。

上段:度数 下段:%		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	不明・無回答	
お住 まい の 地 区 別	全体	N=918	89 9.7	529 57.6	225 24.5	75 8.2
	守山学区	N=240	19 7.9	129 53.8	73 30.4	19 7.9
	吉身学区	N=162	11 6.8	103 63.6	39 24.1	9 5.6
	小津学区	N=92	12 13.0	53 57.6	19 20.7	8 8.7
	玉津学区	N=57	3 5.3	32 56.1	16 28.1	6 10.5
	河西学区	N=172	23 13.4	93 54.1	39 22.7	17 9.9
	速野学区	N=112	14 12.5	68 60.7	21 18.8	9 8.0
	中洲学区	N=44	5 11.4	26 59.1	12 27.3	1 2.3
	不明・無回答	N=39	2 5.1	25 64.1	6 15.4	6 15.4

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

いきいきした地域づくりへの企画・運営としての参加意向についてみると、「参加したくない」が50.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」が36.5%となっています。



■いきいきした地域づくりに企画・運営（お世話役）として参加してみたいか × 地区別

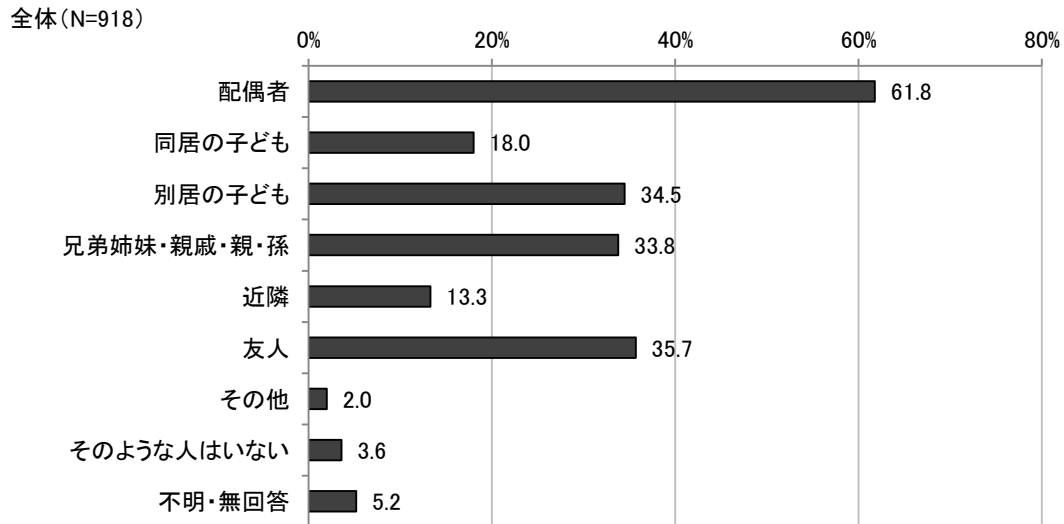
地区別にみると、すべてにおいて「参加したくない」が高くなっている一方で、『中洲学区』では「是非参加したい」「参加してもよい」の合計が全体よりも特に高くなっています。

上段:度数 下段:%		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	不明・無回答	
お住 まい の 地 区 別	全体	N=918	33 3.6	335 36.5	467 50.9	83 9.0
	守山学区	N=240	7 2.9	74 30.8	138 57.5	21 8.8
	吉身学区	N=162	7 4.3	60 37.0	81 50.0	14 8.6
	小津学区	N=92	4 4.3	36 39.1	44 47.8	8 8.7
	玉津学区	N=57	- -	20 35.1	31 54.4	6 10.5
	河西学区	N=172	5 2.9	71 41.3	80 46.5	16 9.3
	速野学区	N=112	6 5.4	41 36.6	55 49.1	10 8.9
	中洲学区	N=44	3 6.8	17 38.6	22 50.0	2 4.5
	不明・無回答	N=39	1 2.6	16 41.0	16 41.0	6 15.4

6. 問6 たすけあいについて

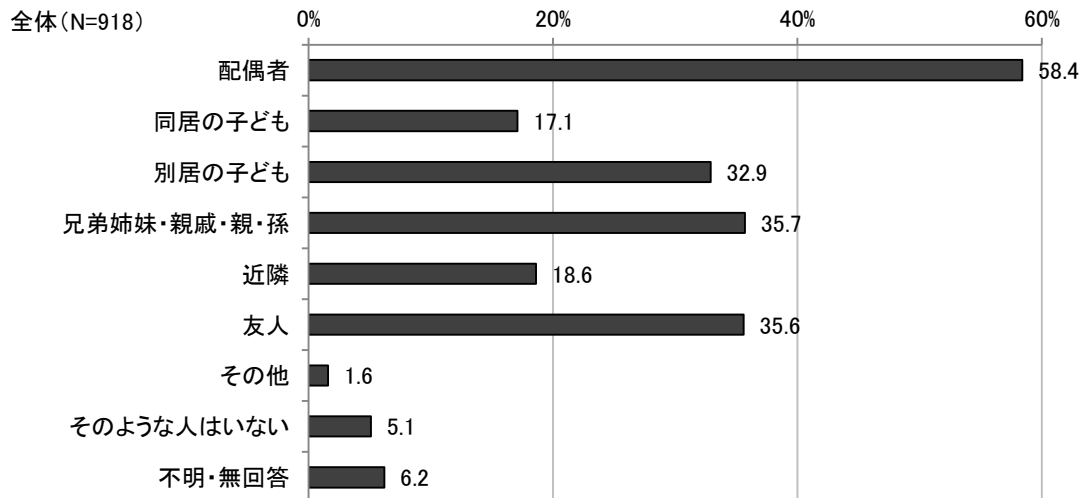
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数回答）

心配事や愚痴を聞いてくれる人についてみると、「配偶者」が 61.8%と最も高く、次いで「友人」が 35.7%、「別居の子ども」が 34.5%となっています。



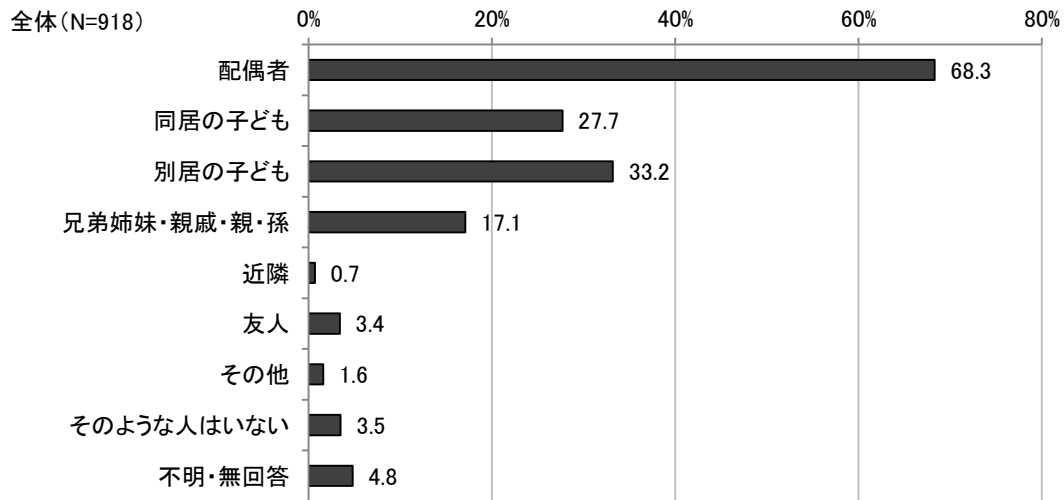
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数回答）

心配事や愚痴を聞いてあげる人についてみると、「配偶者」が 58.4%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 35.7%、「友人」が 35.6%となっています。



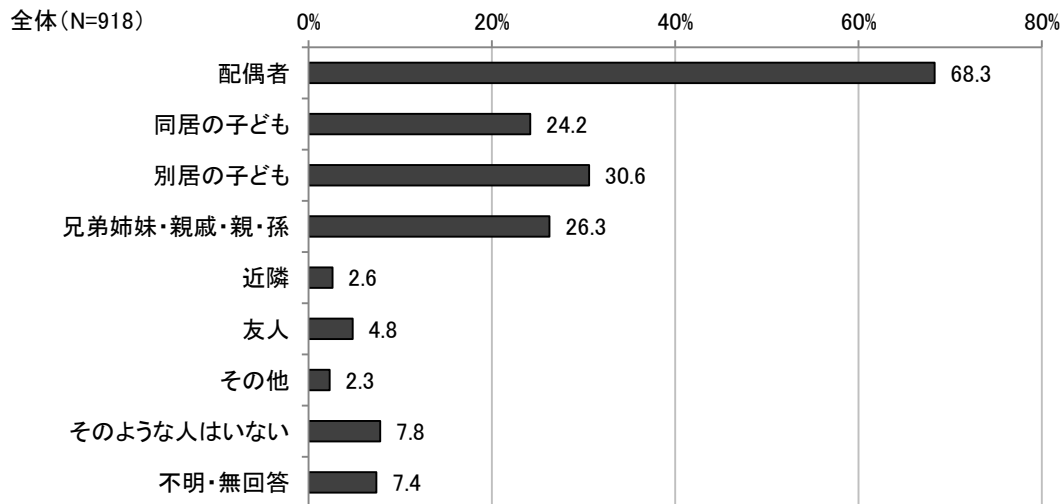
(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人（複数回答）

看病や世話をしてくれる人についてみると、「配偶者」が68.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が33.2%、「同居の子ども」が27.7%となっています。



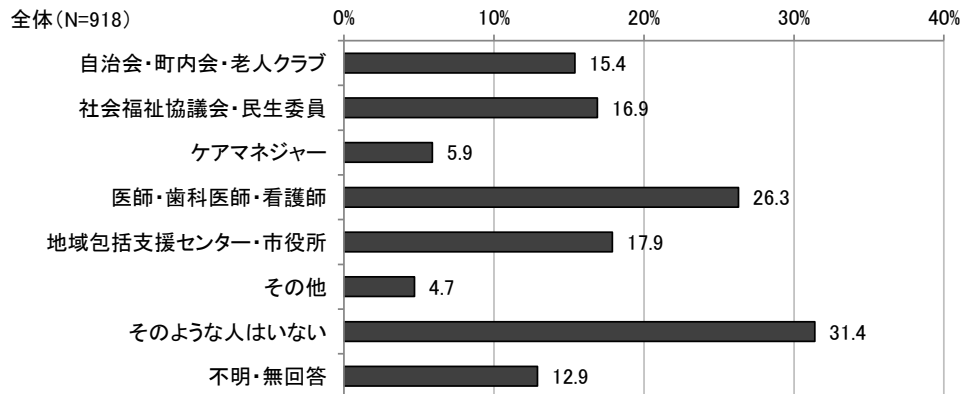
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（複数回答）

看病や世話をしてあげる人についてみると、「配偶者」が68.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が30.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.3%となっています。



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。(複数回答)

何かあった時に相談する相手についてみると、「そのような人はいない」が31.4%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が26.3%、「地域包括支援センター・市役所」が17.9%となっています。



■家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手 × 性別・年齢別

性別にみると、男女ともに「そのような人はいない」、年齢別にみると、『85歳以上』では「医師・歯科医師・看護師」、それ以外では「そのような人はいない」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答	
全体	N=918	141 15.4	155 16.9	54 5.9	241 26.3	164 17.9	43 4.7	288 31.4	118 12.9	
性別	男性	N=428	75 17.5	74 17.3	26 6.1	117 27.3	68 15.9	20 4.7	151 35.3	41 9.6
	女性	N=454	60 13.2	78 17.2	27 5.9	115 25.3	89 19.6	22 4.8	129 28.4	69 15.2
	不明・無回答	N=36	6 16.7	3 8.3	1 2.8	9 25.0	7 19.4	1 2.8	8 22.2	8 22.2
	65～74歳	N=328	46 14.0	36 11.0	18 5.5	78 23.8	54 16.5	28 8.5	117 35.7	40 12.2
75～84歳	N=205	30 14.6	36 17.6	7 3.4	49 23.9	40 19.5	5 2.4	76 37.1	27 13.2	
85歳以上	N=176	25 14.2	41 23.3	6 3.4	53 30.1	36 20.5	4 2.3	48 27.3	22 12.5	
不明・無回答	N=209	40 19.1	42 20.1	23 11.0	61 29.2	34 16.3	6 2.9	47 22.5	29 13.9	

■家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手 × 要支援認定の有無別

要支援認定の有無別にみると、『受けていない』では「そのような人はいない」、それ以外では「ケアマネジャー」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答	
全体	N=918	141 15.4	155 16.9	54 5.9	241 26.3	164 17.9	43 4.7	288 31.4	118 12.9	
要支援認定の有無別	受けていない	N=816	126 15.4	142 17.4	32 3.9	218 26.7	147 18.0	40 4.9	265 32.5	103 12.6
	要支援1	N=37	3 8.1	4 10.8	14 37.8	8 21.6	4 10.8	1 2.7	11 29.7	3 8.1
	要支援2	N=13	2 15.4	2 15.4	7 53.8	1 7.7	3 23.1	-	4 30.8	1 7.7
	不明・無回答	N=52	10 19.2	7 13.5	1 1.9	14 26.9	10 19.2	2 3.8	8 15.4	11 21.2

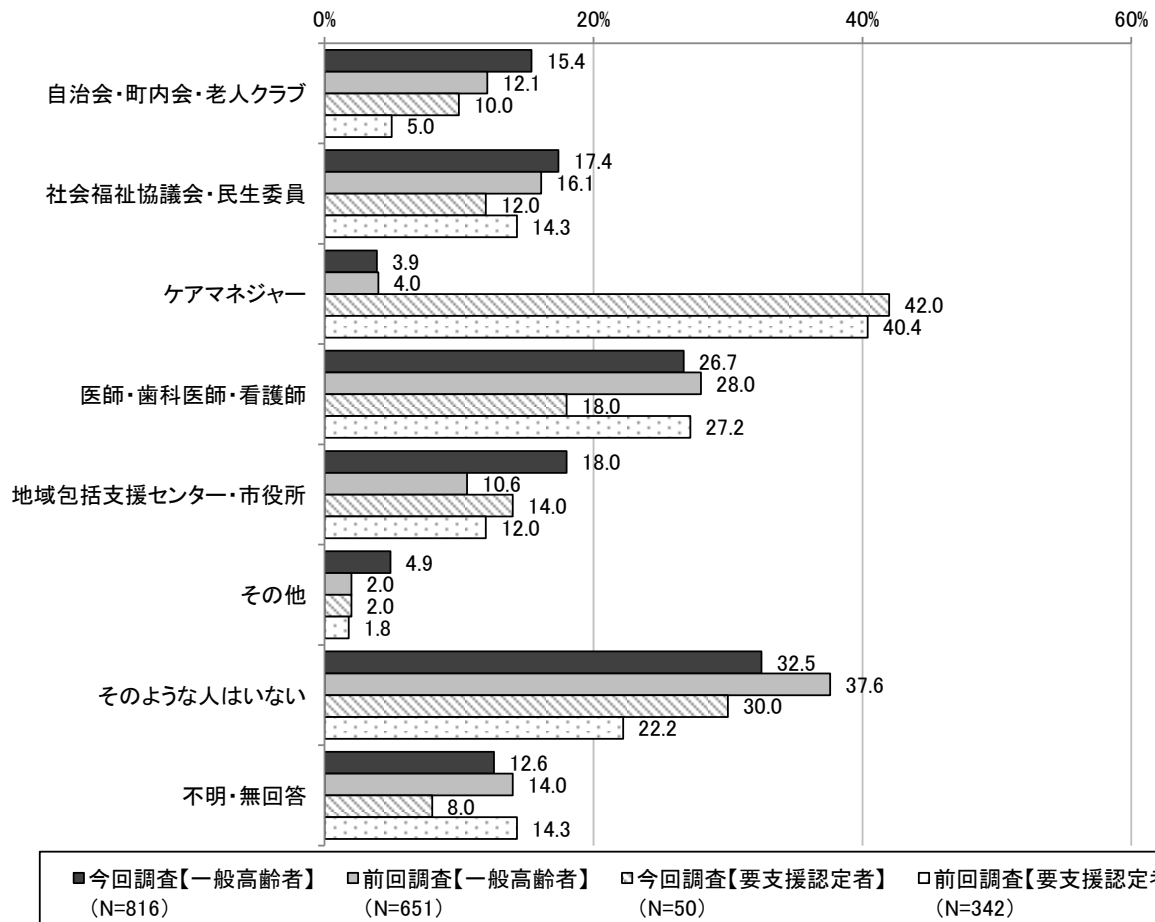
■家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手 × 地区別

地区別にみると、『吉身学区』『中洲学区』では「医師・歯科医師・看護師」、それ以外では「そのような人はいない」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答	
お住まいの地区別	全体	N=918 15.4	155 16.9	54 5.9	241 26.3	164 17.9	43 4.7	288 31.4	118 12.9	
	守山学区	N=240 12.9	31 11.3	27 11.3	10 4.2	61 25.4	43 17.9	13 5.4	84 35.0	29 12.1
	吉身学区	N=162 14.2	23 14.2	35 21.6	13 8.0	54 33.3	33 20.4	6 3.7	48 29.6	13 8.0
	小津学区	N=92 16.3	15 16.3	19 20.7	4 4.3	25 27.2	16 17.4	4 4.3	31 33.7	11 12.0
	玉津学区	N=57 14.0	8 14.0	12 21.1	4 7.0	13 22.8	14 24.6	2 3.5	17 29.8	5 8.8
	河西学区	N=172 16.9	29 16.9	33 19.2	10 5.8	38 22.1	24 14.0	6 3.5	56 32.6	29 16.9
	速野学区	N=112 21.4	24 21.4	18 16.1	10 8.9	25 22.3	25 22.3	5 4.5	33 29.5	15 13.4
	中洲学区	N=44 11.4	5 11.4	8 18.2	2 4.5	16 36.4	3 6.8	5 11.4	9 20.5	8 18.2
	不明・無回答	N=39 15.4	6 15.4	3 7.7	1 2.6	9 23.1	6 15.4	2 5.1	10 25.6	8 20.5

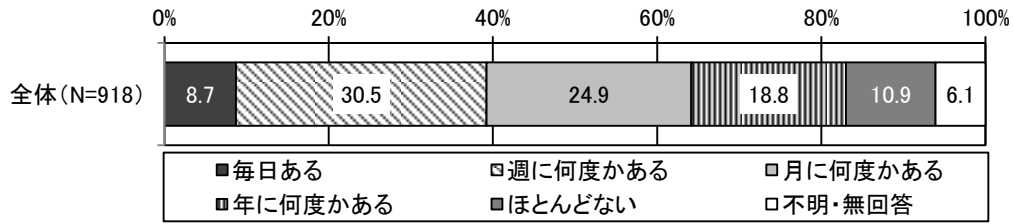
前回調査との比較をみると、『一般高齢者』『要支援認定者』ともに「自治会・町内会・老人クラブ」「地域包括支援センター・市役所」が増加しています。

■前回調査との比較



(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(単数回答)

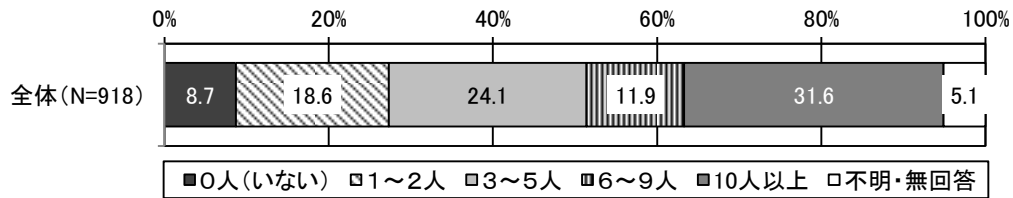
友人・知人と会う頻度についてみると、「週に何度かある」が 30.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 24.9%、「年に何度かある」が 18.8%となっています。



(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(単数回答)

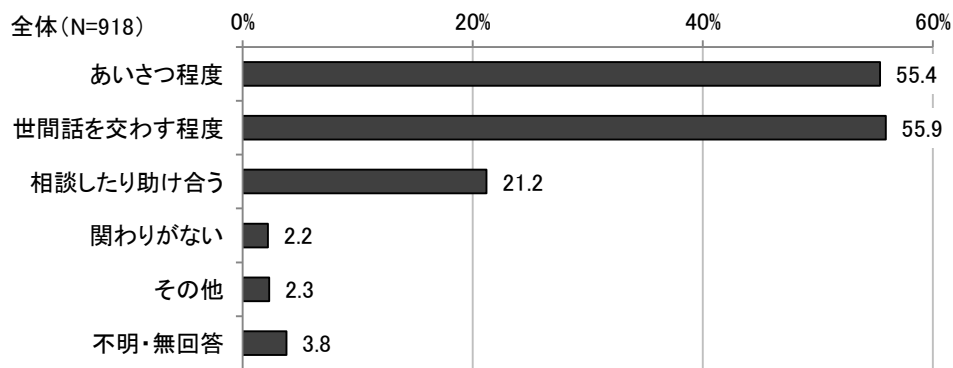
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

この1か月間に友人・知人と会った人数についてみると、「10人以上」が 31.6%と最も高く、次いで「3～5人」が 24.1%、「1～2人」が 18.6%となっています。



(8) あなたが実際に行っている近所づきあいはどのようなものですか。(複数回答)

近所づきあいの程度についてみると、「世間話を交わす程度」が 55.9%と最も高く、次いで「あいさつ程度」が 55.4%となっています。



■近所づきあいの内容 × 性別

性別にみると、『男性』では「あいさつ程度」、『女性』では「世間話を交わす程度」が高くなっており、女性の方がより近所づきあいが深い傾向にあります。

上段:度数 下段:%		あいさつ程度	世間話を交わす程度	相談したり助け合う	関わりがない	その他	不明・無回答	
性別	全体	N=918	509 55.4	513 55.9	195 21.2	20 2.2	21 2.3	35 3.8
	男性	N=428	253 59.1	196 45.8	60 14.0	10 2.3	10 2.3	19 4.4
	女性	N=454	236 52.0	298 65.6	131 28.9	10 2.2	10 2.2	13 2.9
	不明・無回答	N=36	20 55.6	19 52.8	4 11.1	-	1 2.8	3 8.3

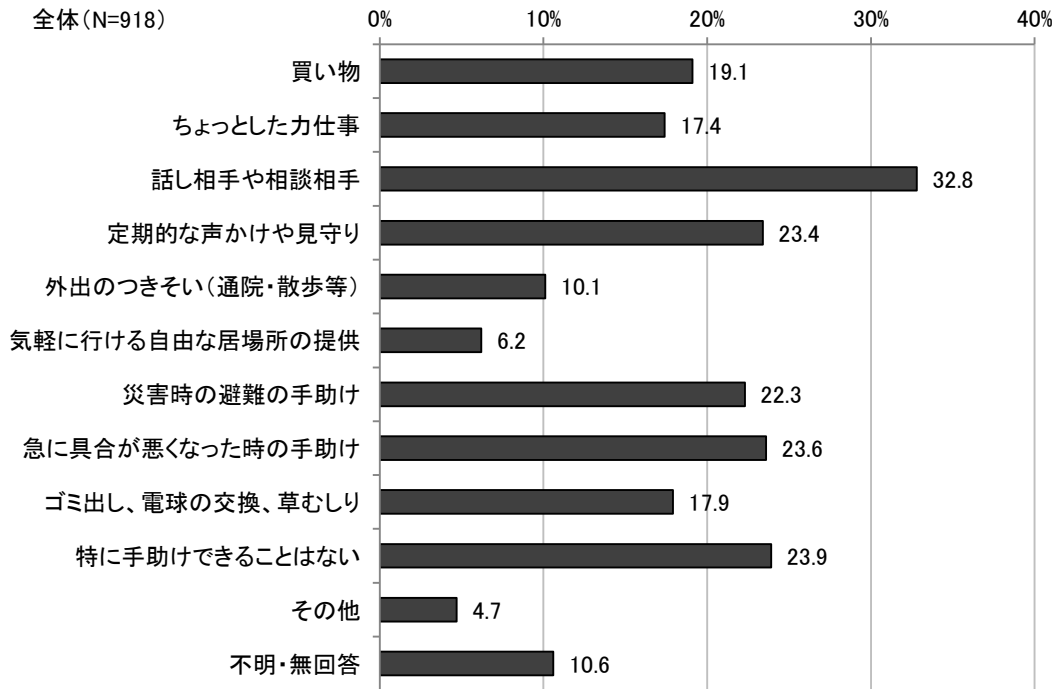
■近所づきあいの内容 × 地区別

地区別にみると、『守山学区』『吉身学区』では「あいさつ程度」、それ以外では「世間話を交わす程度」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		あいさつ程度	世間話を交わす程度	相談したり助け合う	関わりがない	その他	不明・無回答	
お住まいの地区別	全体	N=918	509 55.4	513 55.9	195 21.2	20 2.2	21 2.3	35 3.8
	守山学区	N=240	150 62.5	123 51.3	42 17.5	6 2.5	6 2.5	10 4.2
	吉身学区	N=162	92 56.8	91 56.2	27 16.7	4 2.5	5 3.1	2 1.2
	小津学区	N=92	51 55.4	60 65.2	24 26.1	2 2.2	2 2.2	4 4.3
	玉津学区	N=57	29 50.9	32 56.1	11 19.3	3 5.3	2 3.5	3 5.3
	河西学区	N=172	91 52.9	94 54.7	46 26.7	3 1.7	-	7 4.1
	速野学区	N=112	54 48.2	68 60.7	25 22.3	2 1.8	2 1.8	5 4.5
	中洲学区	N=44	21 47.7	28 63.6	15 34.1	-	3 6.8	1 2.3
	不明・無回答	N=39	21 53.8	17 43.6	5 12.8	-	1 2.6	3 7.7

(9) あなたご自身がご近所で手助けや協力ができることがありますか。(複数回答)

あなたご自身がご近所で手助けや協力ができることについてみると、「話し相手や相談相手」が32.8%と最も高く、次いで「特に手助けできることはない」が23.9%、「急に具合が悪くなった時の手助け」が23.6%となっています。



■あなたご自身がご近所で手助けや協力ができること × 性別

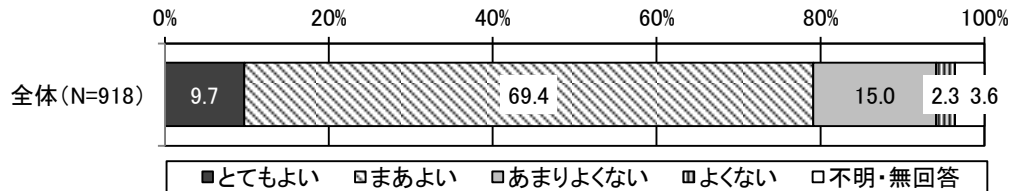
性別にみると、『男性』では「災害時の避難の手助け」、『女性』では「話し相手や相談相手」が高くなっており、男性では力仕事や緊急時の支援、女性では日常的な支援ができる傾向にあります。

上段:度数 下段:%		買い物	ちょっとした力仕事	話し相手や相談相手	定期的な声かけや見守り	外出のつきそい(通院・散歩等)	気軽にに行ける自由な居場所の提供
性別	全体 N=918	175 19.1	160 17.4	301 32.8	215 23.4	93 10.1	57 6.2
	男性 N=428	63 14.7	126 29.4	111 25.9	86 20.1	41 9.6	30 7.0
	女性 N=454	106 23.3	25 5.5	175 38.5	120 26.4	49 10.8	26 5.7
	不明・無回答 N=36	6 16.7	9 25.0	15 41.7	9 25.0	3 8.3	1 2.8
上段:度数 下段:%		災害時の避難の手助け	急に具合が悪くなった時の手助け	ゴミ出し、電球の交換、草むしり	特に手助けできることはない	その他	不明・無回答
性別	全体 N=918	205 22.3	217 23.6	164 17.9	219 23.9	43 4.7	97 10.6
	男性 N=428	136 31.8	114 26.6	96 22.4	103 24.1	21 4.9	31 7.2
	女性 N=454	61 13.4	97 21.4	60 13.2	112 24.7	22 4.8	61 13.4
	不明・無回答 N=36	8 22.2	6 16.7	8 22.2	4 11.1	-	5 13.9

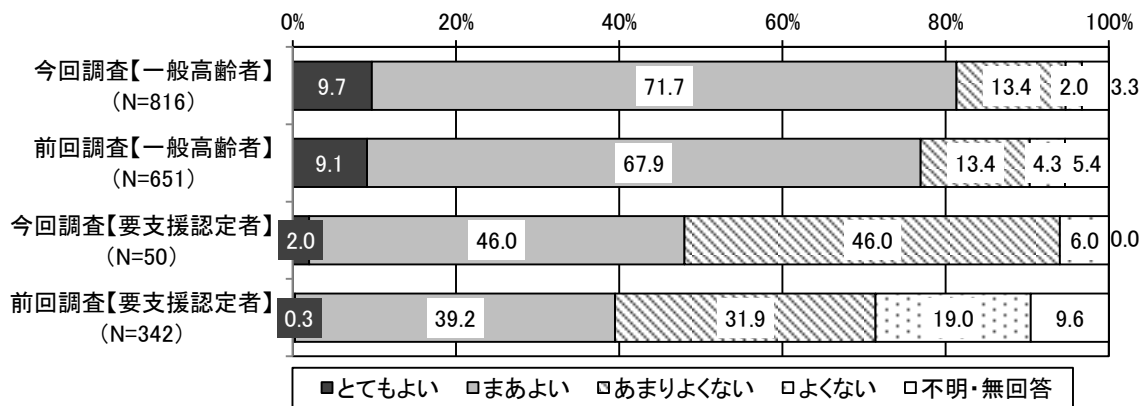
7. 問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

健康状態についてみると、「まあよい」が69.4%と最も高く、次いで「あまりよくない」が15.0%となっています。前回調査との比較をみると、『一般高齢者』『要支援認定者』ともに「とてもよい」「まあよい」の合計が高くなっています。



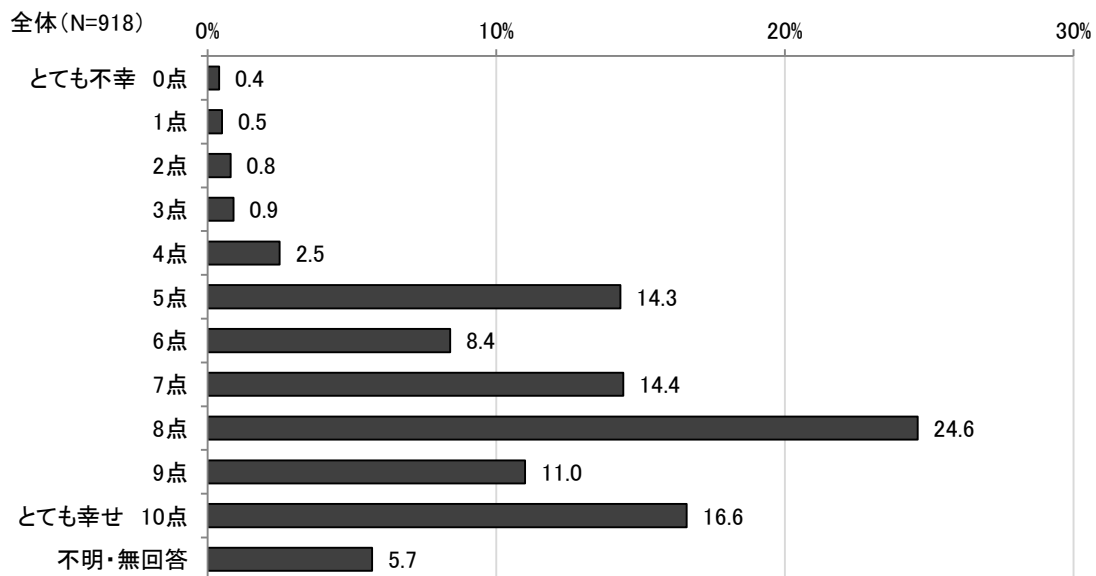
■前回調査との比較



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

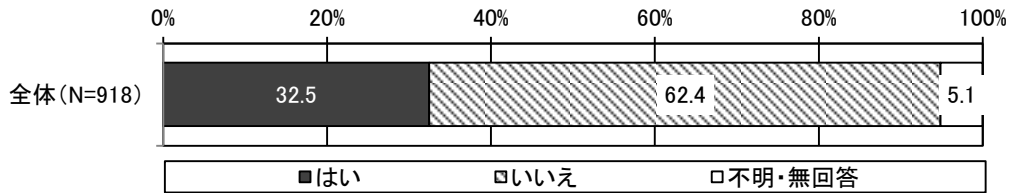
現在の幸福度についてみると、「8点」が24.6%と最も高く、次いで「10点」が16.6%、「7点」が14.4%となっています。



※平均点…7.41

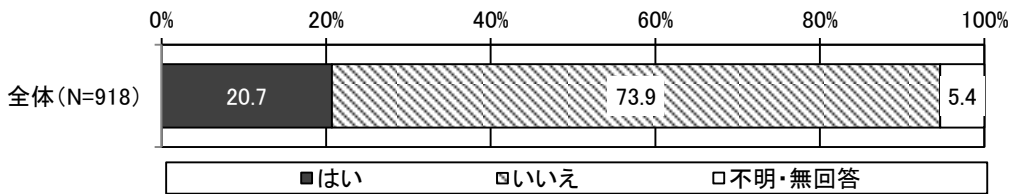
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(単数回答)

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについてみると、「いいえ」が62.4%となっています。



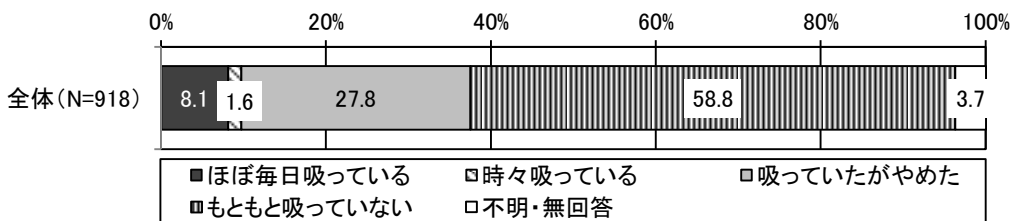
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(単数回答)

物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがあったかについてみると、「いいえ」が73.9%となっています。



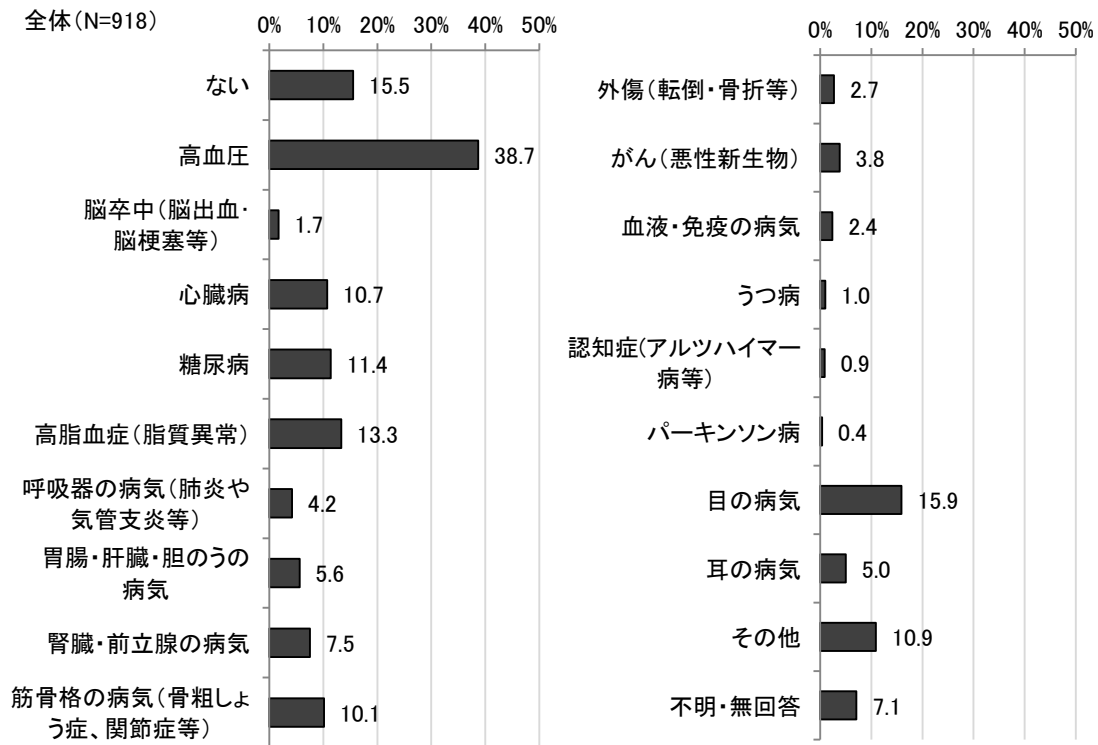
(5) タバコは吸っていますか。(単数回答)

喫煙の有無についてみると、「もともと吸っていない」が58.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が27.8%となっています。



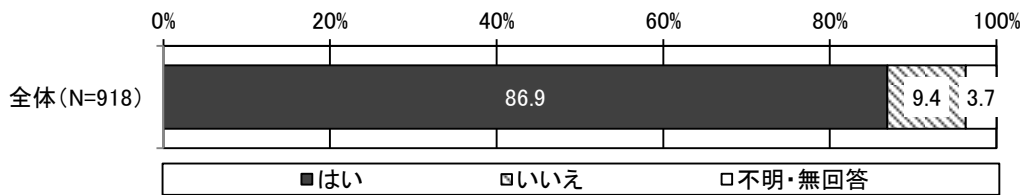
(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

現在治療中、または後遺症のある病気についてみると、「高血圧」が38.7%と最も高く、次いで「目の病気」が15.9%、「ない」が15.5%となっています。



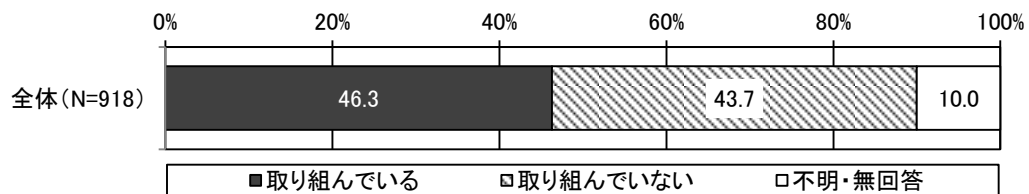
(7) 定期的に通院もしくは健康診断を受けていますか。(単数回答)

定期的に通院もしくは健康診断を受けているかについてみると、「はい」が86.9%となっています。



(8) 介護状態にならないように、現在、介護予防に取り組んでいますか。(単数回答)

介護予防に取り組んでいるかについてみると、「取り組んでいる」が46.3%となっています。



■現在、介護予防に取り組んでいるか × 性別

性別にみると、『男性』では「いいえ」、『女性』では「はい」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		はい	いいえ	不明・無回答
性別	全体 N=918	425 46.3	401 43.7	92 10.0
	男性 N=428	190 44.4	209 48.8	29 6.8
	女性 N=454	217 47.8	181 39.9	56 12.3
	不明・無回答 N=36	18 50.0	11 30.6	7 19.4

■現在、介護予防に取り組んでいるか × 年齢別

年齢別にみると、『75～84歳』では「はい」、それ以外では「いいえ」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		はい	いいえ	不明・無回答
年齢別	全体 N=918	425 46.3	401 43.7	92 10.0
	65～74歳 N=328	148 45.1	155 47.3	25 7.6
	75～84歳 N=205	101 49.3	91 44.4	13 6.3
	85歳以上 N=176	76 43.2	82 46.6	18 10.2
	不明・無回答 N=209	100 47.8	73 34.9	36 17.2

■現在、介護予防に取り組んでいるか × 地区別

地区別にみると、『玉津学区』『速野学区』では「いいえ」、『河西学区』では「はい」と「いいえ」、それ以外では「いいえ」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		はい	いいえ	不明・無回答
お住まいの地区別	全体 N=918	425 46.3	401 43.7	92 10.0
	守山学区 N=240	115 47.9	105 43.8	20 8.3
	吉身学区 N=162	74 45.7	73 45.1	15 9.3
	小津学区 N=92	44 47.8	41 44.6	7 7.6
	玉津学区 N=57	26 45.6	27 47.4	4 7.0
	河西学区 N=172	77 44.8	77 44.8	18 10.5
	速野学区 N=112	45 40.2	51 45.5	16 14.3
	中洲学区 N=44	21 47.7	18 40.9	5 11.4
	不明・無回答 N=39	23 59.0	9 23.1	7 17.9

■現在、介護予防に取り組んでいるか × 家族構成別

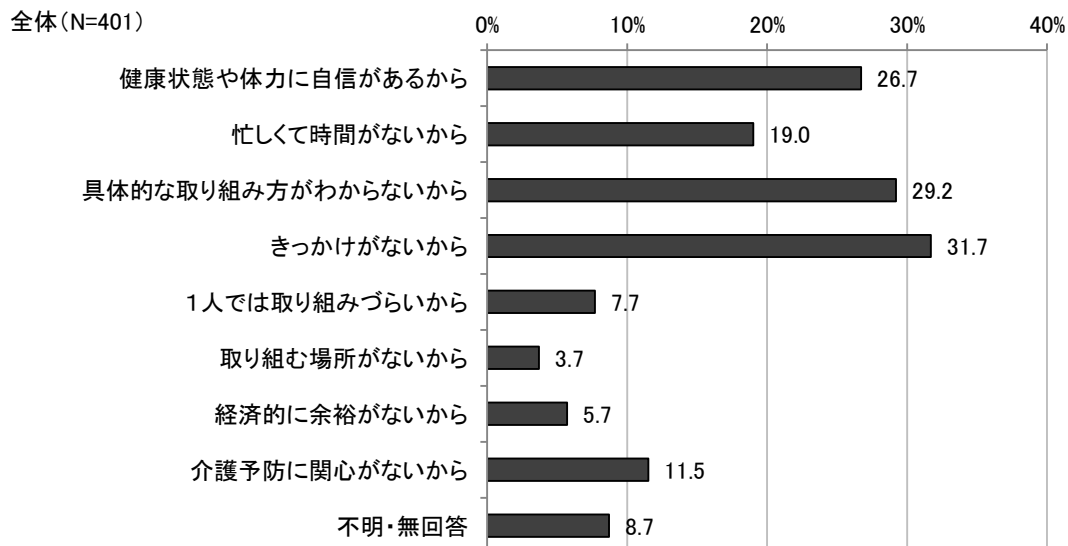
家族構成別にみると、『1人暮らし』『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』では「はい」、それ以外では「いいえ」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		はい	いいえ	不明・無回答
家族構成別	全体 N=918	425 46.3	401 43.7	92 10.0
	1人暮らし N=94	52 55.3	32 34.0	10 10.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) N=348	168 48.3	156 44.8	24 6.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) N=66	24 36.4	35 53.0	7 10.6
	息子・娘との同居(2世帯を含む) N=278	122 43.9	126 45.3	30 10.8
	その他 N=84	33 39.3	40 47.6	11 13.1
	不明・無回答 N=48	26 54.2	12 25.0	10 20.8

【(8) において「取り組んでいない」の方のみ】

(8) ①介護予防に取り組まれていない理由は何ですか。(複数回答)

介護予防に取り組んでいない理由についてみると、「きっかけがないから」が31.7%と最も高く、次いで「具体的な取り組み方がわからないから」が29.2%、「健康状態や体力に自信があるから」が26.7%となっています。



■介護予防に取り組んでいない理由 × 性別

性別にみると、『男性』では「健康状態や体力に自信があるから」と「具体的な取り組み方がわからないから」、『女性』では「きっかけがないから」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		健康状態や体力に自信があるから	忙しくて時間がないから	具体的な取り組み方がわからないから	きっかけがないから	1人では取り組みづらいから
性別	全体	N=401 107 26.7	76 19.0	117 29.2	127 31.7	31 7.7
	男性	N=209 67 32.1	37 17.7	67 32.1	62 29.7	7 3.3
	女性	N=181 38 21.0	38 21.0	47 26.0	61 33.7	21 11.6
	不明・無回答	N=11 2 18.2	1 9.1	3 27.3	4 36.4	3 27.3

上段:度数 下段:%		取り組む場所がないから	経済的に余裕がないから	介護予防に関心がないから	不明・無回答
性別	全体	N=401 15 3.7	23 5.7	46 11.5	35 8.7
	男性	N=209 10 4.8	11 5.3	31 14.8	12 5.7
	女性	N=181 5 2.8	11 6.1	13 7.2	23 12.7
	不明・無回答	N=11 - -	1 9.1	2 18.2	- -

■介護予防に取り組んでいない理由 × 年齢別

年齢別にみると、『65～74歳』では「具体的な取り組み方がわからないから」、『75～84歳』では「きっかけがないから」、『85歳以上』では「健康状態や体力に自信があるから」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		健康状態や体力に自信があるから	忙しくて時間がないから	具体的な取り組み方がわからないから	きっかけがないから	1人では取り組みづらいから
年齢別	全体	N=401 107 26.7	76 19.0	117 29.2	127 31.7	31 7.7
	65～74歳	N=155 45 29.0	35 22.6	50 32.3	46 29.7	4 2.6
	75～84歳	N=91 23 25.3	17 18.7	23 25.3	35 38.5	5 5.5
	85歳以上	N=82 25 30.5	19 23.2	22 26.8	23 28.0	8 9.8
	不明・無回答	N=73 14 19.2	5 6.8	22 30.1	23 31.5	14 19.2

上段:度数 下段:%		取り組む場所がないから	経済的に余裕がないから	介護予防に関心がないから	不明・無回答
年齢別	全体	N=401 15 3.7	23 5.7	46 11.5	35 8.7
	65～74歳	N=155 4 2.6	12 7.7	17 11.0	11 7.1
	75～84歳	N=91 4 4.4	6 6.6	9 9.9	8 8.8
	85歳以上	N=82 3 3.7	3 3.7	10 12.2	8 9.8
	不明・無回答	N=73 4 5.5	2 2.7	10 13.7	8 11.0

■介護予防に取り組んでいない理由 × 地区別

地区別にみると、『守山学区』『中洲学区』では「健康状態や体力に自信があるから」、『玉津学区』『速野学区』では「具体的な取り組み方がわからないから」、それ以外では「きっかけがないから」が高くなっています。

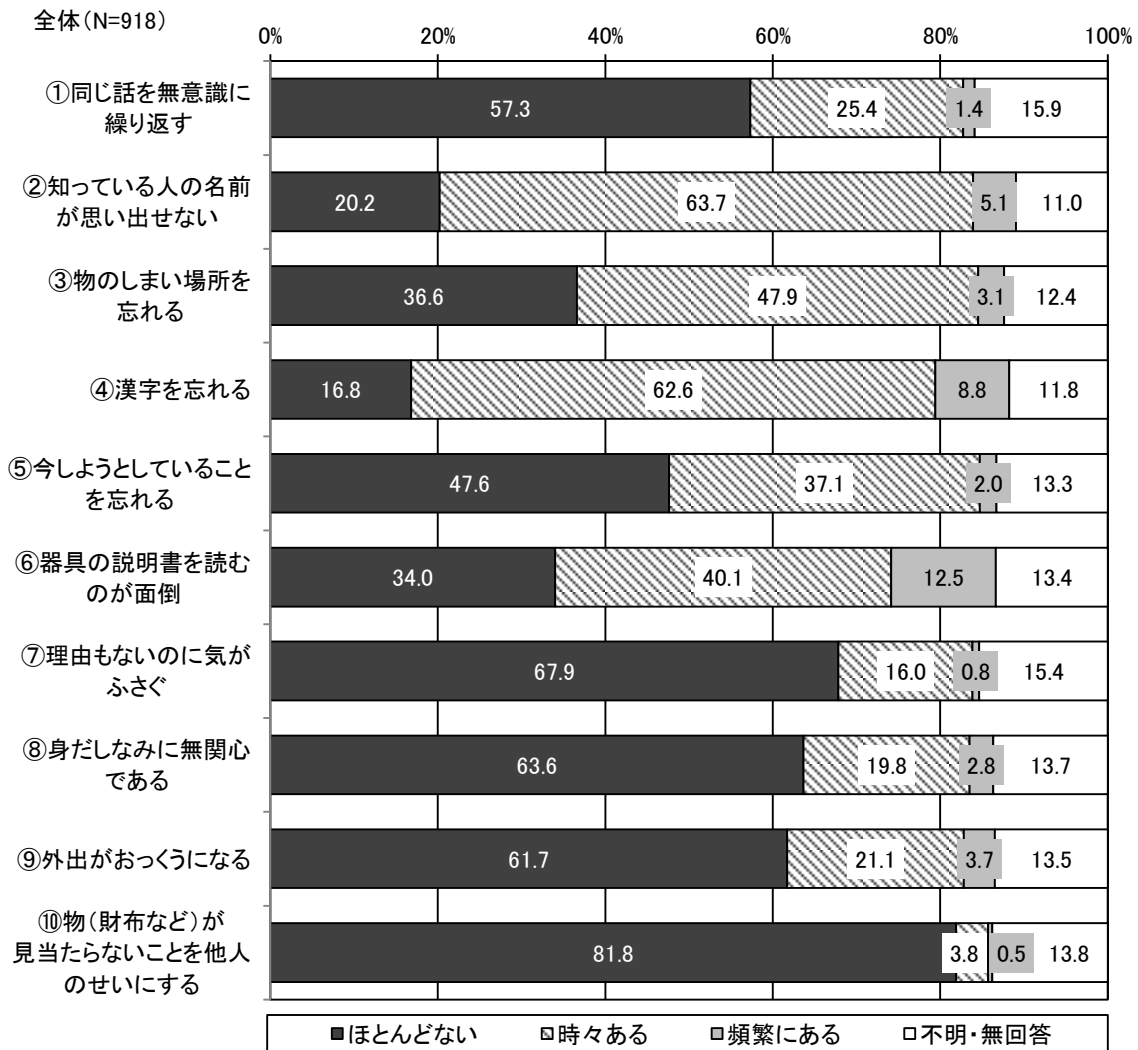
上段:度数 下段:%		健康状態や 体力に自信 があるから	忙しくて時間 がないから	具体的な取 り組み方が わからない から	きっかけがな いから	1人では取り 組みづらい から	取り組む場 所がないか ら	経済的に余 裕がないか ら	介護予防に 関心がない から	不明・無回答
お 住 ま い の 地 区 別	全体	N=401 107 26.7	76 19.0	117 29.2	127 31.7	31 7.7	15 3.7	23 5.7	46 11.5	35 8.7
	守山学区	N=105 35 33.3	24 22.9	23 21.9	28 26.7	8 7.6	5 4.8	9 8.6	13 12.4	10 9.5
	吉身学区	N=73 14 19.2	10 13.7	23 31.5	25 34.2	5 6.8	2 2.7	2 2.7	4 5.5	7 9.6
	小津学区	N=41 16 39.0	5 12.2	14 34.1	17 41.5	-	3 7.3	-	3 7.3	4 9.8
	玉津学区	N=27 4 14.8	6 22.2	12 44.4	8 29.6	1 3.7	-	1 3.7	7 25.9	3 11.1
	河西学区	N=77 15 19.5	13 16.9	22 28.6	29 37.7	11 14.3	2 2.6	7 9.1	11 14.3	6 7.8
	速野学区	N=51 14 27.5	12 23.5	17 33.3	13 25.5	4 7.8	2 3.9	3 5.9	4 7.8	2 3.9
	中洲学区	N=18 6 33.3	5 27.8	3 16.7	5 27.8	-	1 5.6	1 5.6	2 11.1	3 16.7
	不明・無回答	N=9 3 33.3	1 11.1	3 33.3	2 22.2	2 22.2	-	-	2 22.2	-

8. 問8 認知症について

(1) 最近、以下のようなことを感じる、または人に指摘されることがありますか。

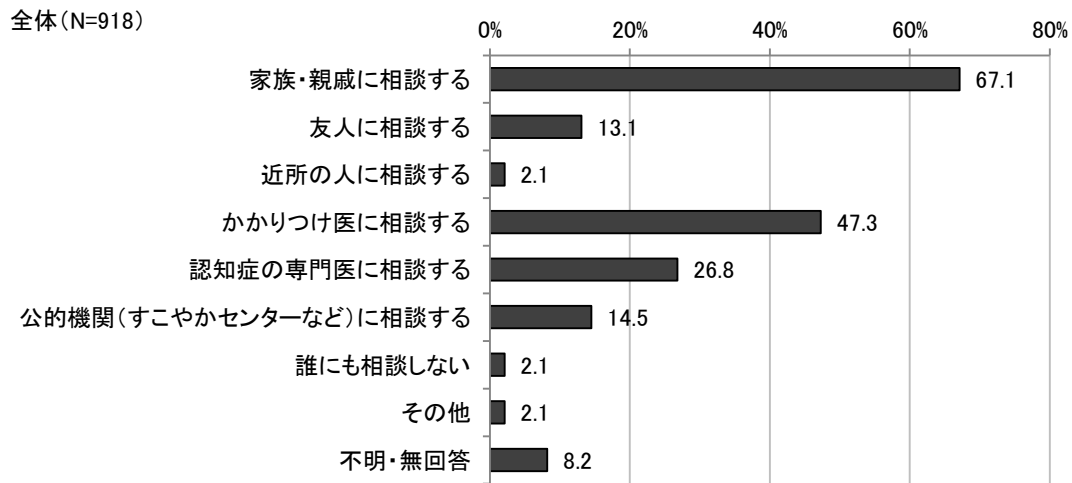
(① - ⑩それぞれに単数回答)

最近、感じる、または人に指摘されることについてみると、『②知っている人の名前が思い出せない』『③物のしまい場所を忘れる』『④漢字を忘れる』『⑥器具の説明書を読むのが面倒』では「時々ある」が高く、それ以外では「ほとんどない」が高くなっています。



(2) あなたが、認知症かも？と悩んだ時は、どちらに相談されますか。(複数回答)

認知症かも？と悩んだ時の相談先についてみると、「家族・親戚に相談する」が67.1%と最も高く、次いで「かかりつけ医に相談する」が47.3%、「認知症の専門医に相談する」が26.8%となっています。



■ 認知症かも？と悩んだ時の相談先 × 要支援認定の有無別

要支援認定の有無別にみると、すべてにおいて「家族・親戚に相談する」が高くなっており、次いで『受けていない』『要支援1』では「かかりつけ医に相談する」、『要支援2』では「認知症の専門医に相談する」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		家族・親戚に 相談する	友人に相談 する	近所の人に 相談する	かかりつけ医 に相談する	認知症の専門医に相談 する	公的機関(すこやかセン ターなど)に 相談する	誰にも相談し ない	その他	不明・無回答	
要 支 援 認 定 の 有 無 別	全体	N=918	616 67.1	120 13.1	19 2.1	434 47.3	246 26.8	133 14.5	19 2.1	19 2.1	75 8.2
	受けていない	N=816	551 67.5	111 13.6	15 1.8	382 46.8	220 27.0	122 15.0	14 1.7	17 2.1	63 7.7
	要支援1	N=37	25 67.6	1 2.7	-	19 51.4	5 13.5	3 8.1	4 10.8	1 2.7	1 2.7
	要支援2	N=13	9 69.2	2 15.4	-	6 46.2	8 61.5	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7
	不明・無回答	N=52	31 59.6	6 11.5	4 7.7	27 51.9	13 25.0	7 13.5	-	-	10 19.2

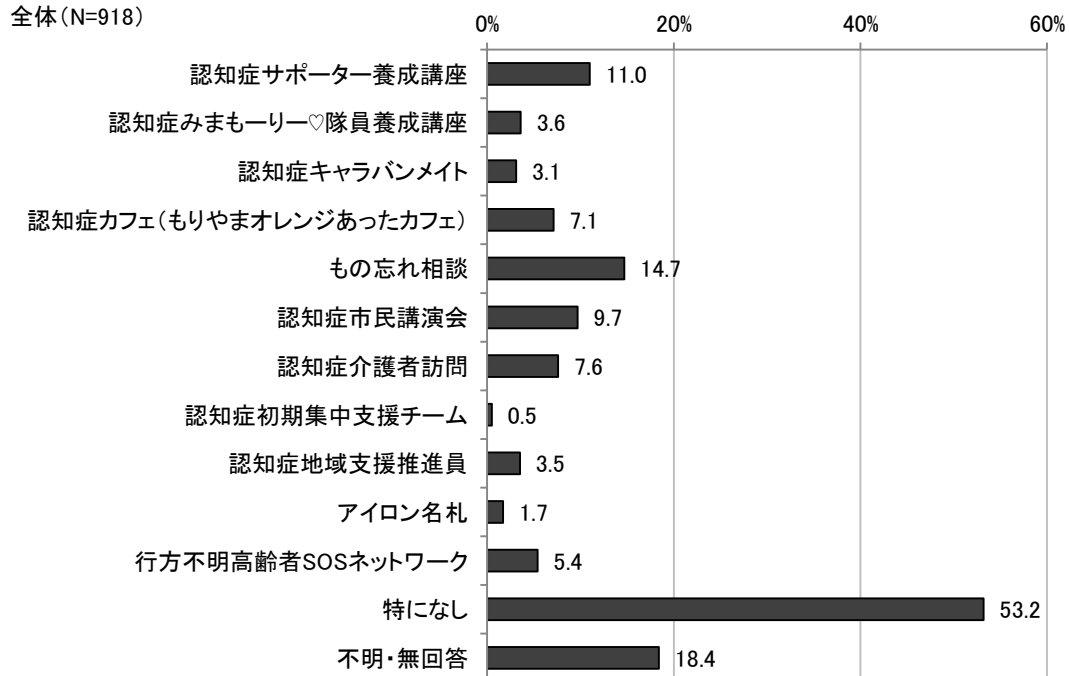
■ 認知症かも？と悩んだ時の相談先 × 家族構成別

家族構成別にみると、『1人暮らし』では「かかりつけ医に相談する」、それ以外では「家族・親戚に相談する」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		家族・親戚に 相談する	友人に相談 する	近所の人に 相談する	かかりつけ医 に相談する	認知症の専門 医に相談する	公的機関(す こやかセン ターなど)に 相談する	誰にも相談し ない	その他	不明・無回答
家族 構成 別	全体 N=918	616 67.1	120 13.1	19 2.1	434 47.3	246 26.8	133 14.5	19 2.1	19 2.1	75 8.2
	1人暮らし N=94	49 52.1	21 22.3	4 4.3	54 57.4	20 21.3	10 10.6	2 2.1	5 5.3	5 5.3
	夫婦2人暮らし(配 偶者65歳以上) N=348	245 70.4	40 11.5	8 2.3	151 43.4	110 31.6	63 18.1	6 1.7	4 1.1	27 7.8
	夫婦2人暮らし(配 偶者64歳以下) N=66	41 62.1	6 9.1	2 3.0	26 39.4	13 19.7	4 6.1	1 1.5	2 3.0	9 13.6
	息子・娘との同居 (2世帯を含む) N=278	202 72.7	30 10.8	2 0.7	137 49.3	73 26.3	41 14.7	8 2.9	6 2.2	14 5.0
	その他 N=84	49 58.3	17 20.2	1 1.2	41 48.8	17 20.2	7 8.3	2 2.4	2 2.4	11 13.1
	不明・無回答 N=48	30 62.5	6 12.5	2 4.2	25 52.1	13 27.1	8 16.7	-	-	9 18.8

(3) 市で実施している認知症施策について、知っているものはありますか。(複数回答)

市の認知症施策の認知度についてみると、「特になし」が53.2%と最も高く、次いで「もの忘れ相談」が14.7%、「認知症サポーター養成講座」が11.0%となっています。



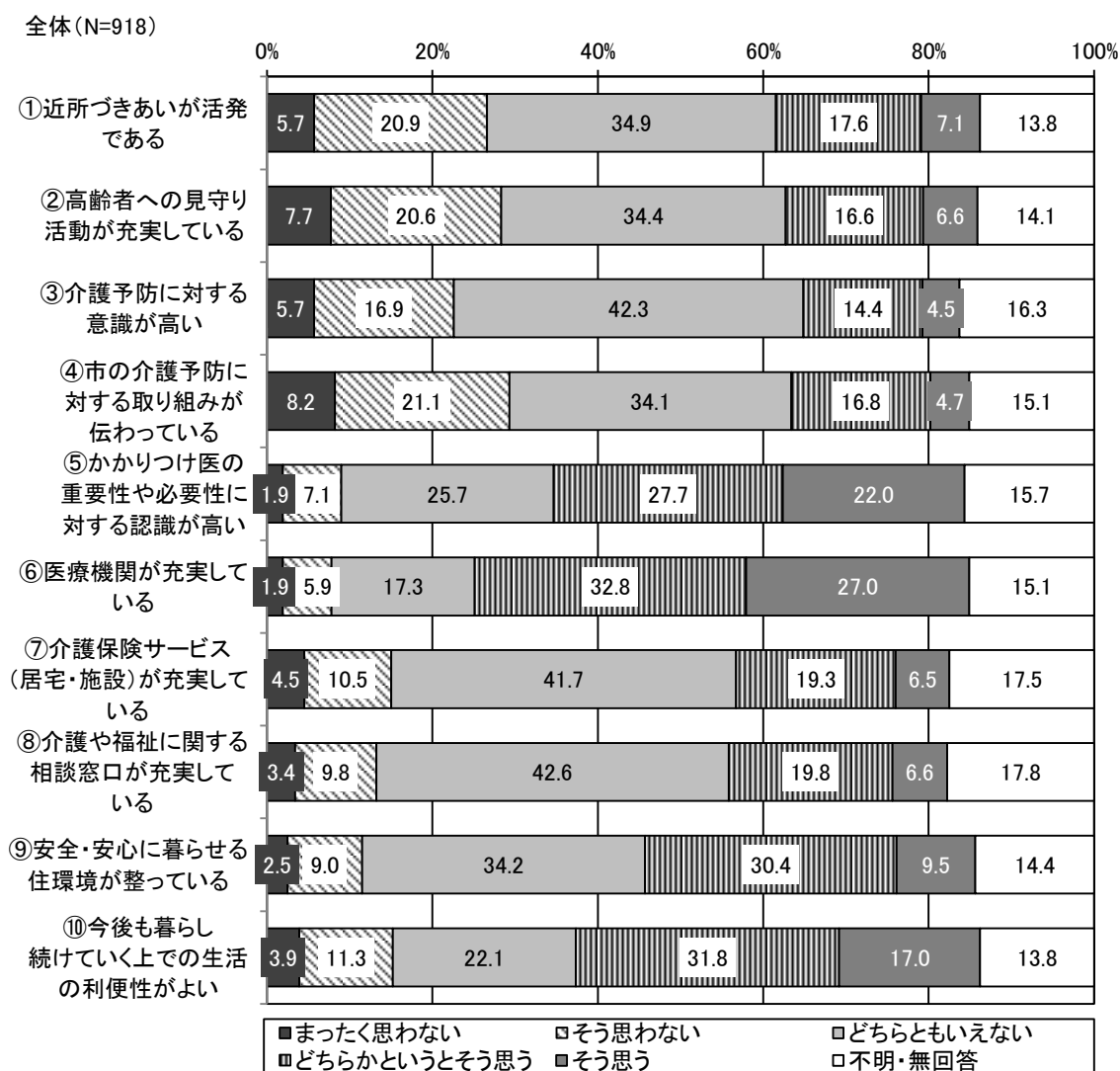
9. 問9 地域における暮らしについて

(1) あなたが住んでいる地域について「感じること」「必要なこと」は何ですか。(① - ⑩それぞれに対して「感じること」と「必要なこと」を単数回答)

【感じること】

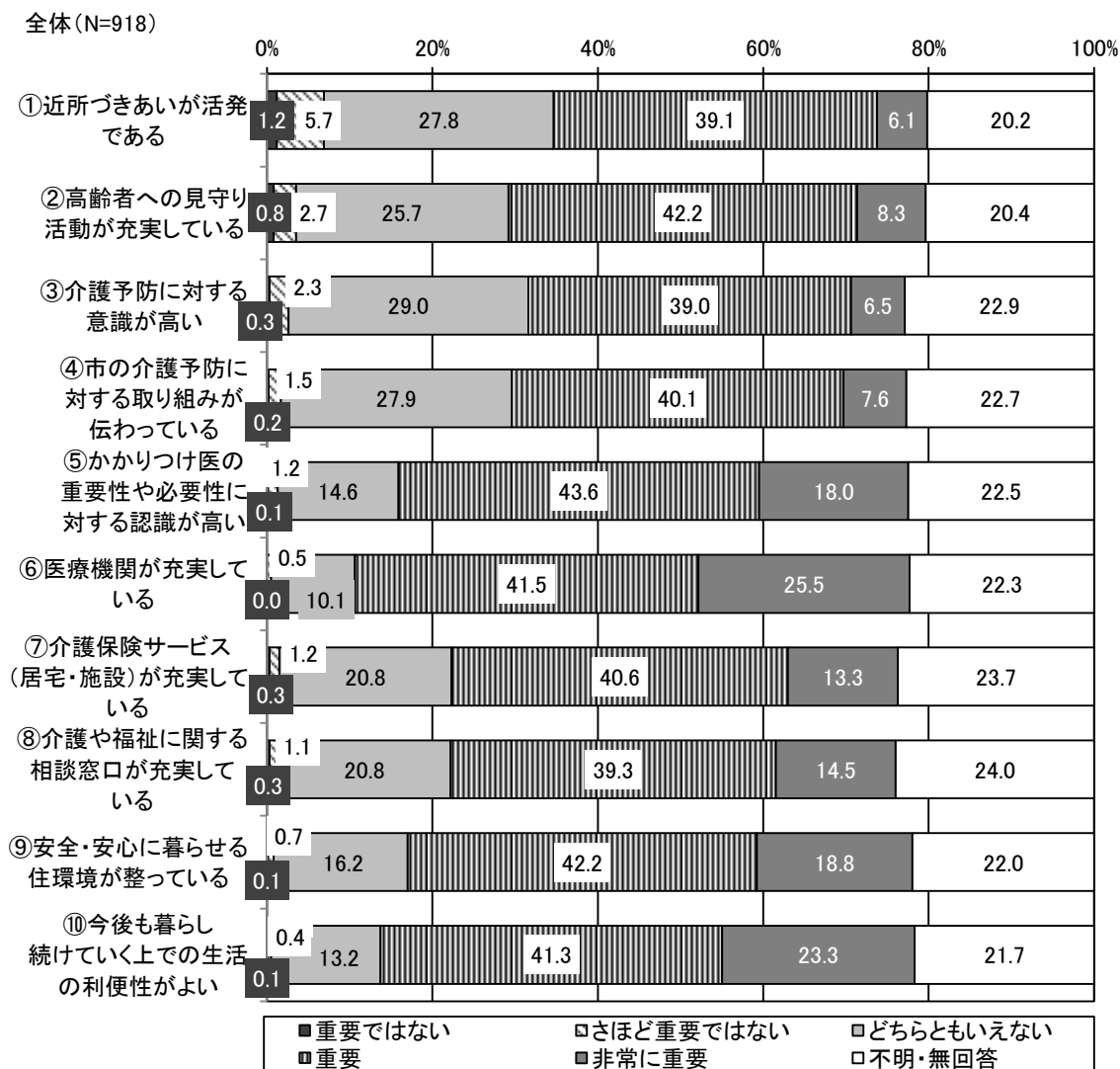
住んでいる地域に【感じること】についてみると、『思う(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)』では、<⑥医療機関が充実している>が59.8%と最も高く、次いで<⑤かかりつけ医の重要性や必要性に対する認識が高い>が49.7%、<⑩今後も暮らし続けていく上での生活の利便性がよい>が48.8%となっています。

一方、『思わない(「そう思わない」+「まったく思わない」)』では、<④市の介護予防に対する取り組みが伝わっている>が29.3%と最も高く、次いで<②高齢者への見守り活動が充実している>が28.3%、<①近所づきあいが活発である>が26.6%となっています。



【必要なこと】

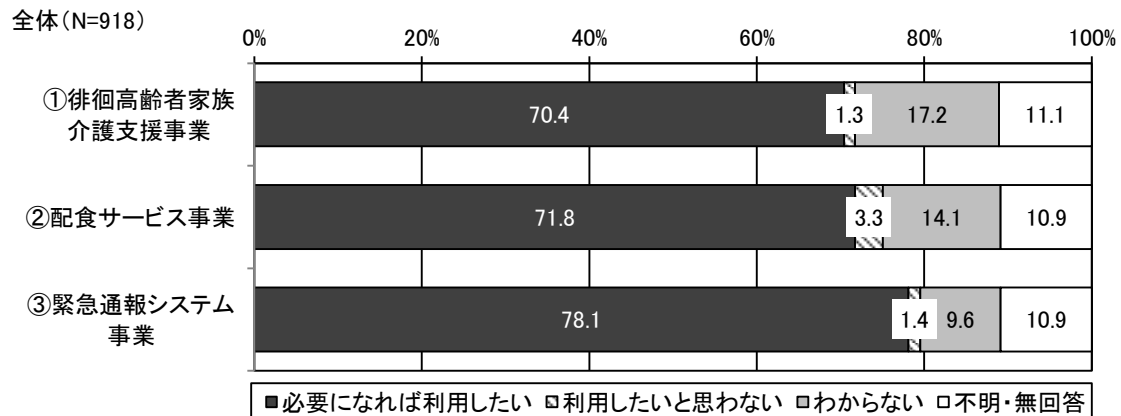
住んでいる地域に【必要なこと】についてみると、『重要（「非常に重要」＋「重要」）』では、＜⑥医療機関が充実している＞が67.0%と最も高く、次いで＜⑩今後も暮らし続けていく上での生活の利便性がよい＞が64.6%、＜⑤かかりつけ医の重要性や必要性に対する認識が高い＞が61.6%となっています。



10. 問 10 高齢者福祉について

(1) 今後、福祉サービスが必要になった時に次のような市の高齢者福祉サービスを利用したいと
 思いますか。(① - ③それぞれに単数回答)

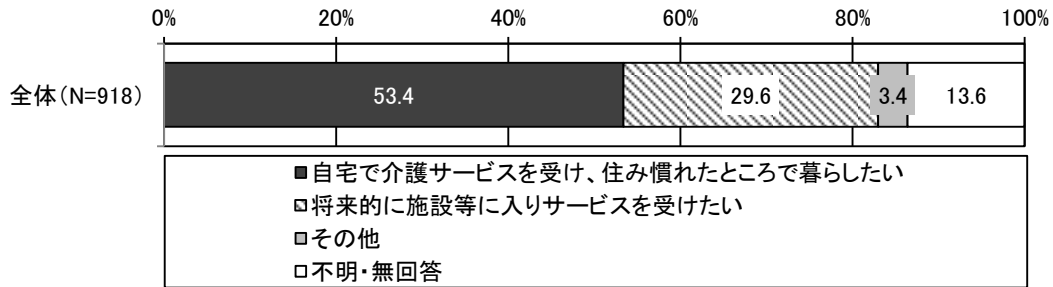
利用したい市の高齢者福祉サービスについてみると、すべてにおいて「必要になれば利用したい」が
 最も高くなっています。



11. 問 11 介護保険制度・サービスについて

(1) あなたご自身が要介護状態になった場合、どのようにしたいと思いますか。(単数回答)

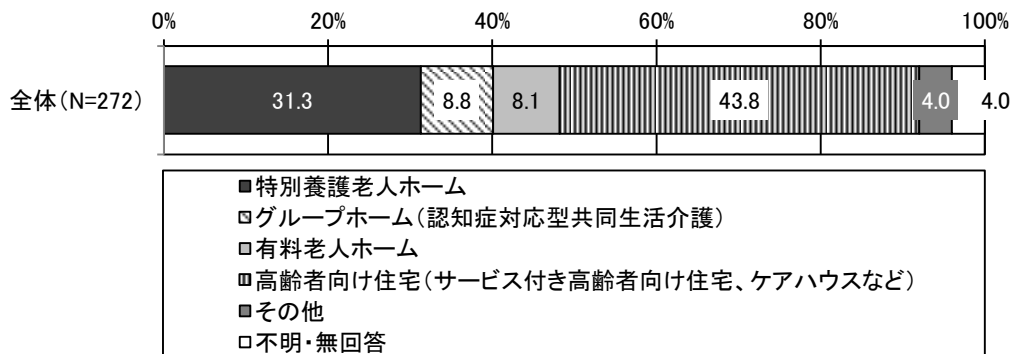
あなたご自身の介護への考えについてみると、「自宅で介護サービスを受け、住み慣れたところで暮らしたい」が 53.4%と最も高く、次いで「将来的に施設等に入りサービスを受けたい」が 29.6%となっています。



【(1) で「将来的に施設等に入りサービスを受けたい」の方のみ】

(1) ①どのような施設等を望みますか。(単数回答)

入所したい施設等についてみると、「高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなど）」が 43.8%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」が 31.3%となっています。



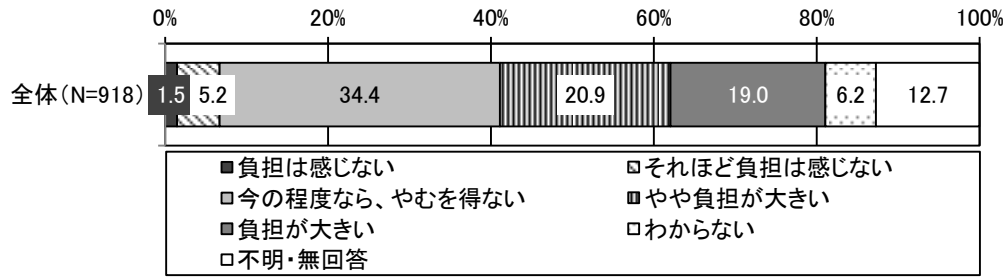
■ サービスを受けたい施設等 × 性別

性別にみると、『男性』では「特別養護老人ホーム」、『女性』では「高齢者向け住宅サービス（サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなど）」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		特別養護老人ホーム	グループホーム(認知症対応型共同生活介護)	有料老人ホーム	高齢者向け住宅(サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなど)	その他	不明・無回答
性別	全体	N=272 85 31.3	24 8.8	22 8.1	119 43.8	11 4.0	11 4.0
	男性	N=108 47 43.5	8 7.4	11 10.2	38 35.2	2 1.9	2 1.9
	女性	N=155 35 22.6	16 10.3	10 6.5	76 49.0	9 5.8	9 5.8
	不明・無回答	N=9 3 33.3	-	1 11.1	5 55.6	-	-

(2) あなたの介護保険料について経済的な負担感はどうですか。(単数回答)

介護保険料への負担感についてみると、「今の程度なら、やむを得ない」が34.4%と最も高く、次いで「やや負担が大きい」が20.9%、「負担が大きい」が19.0%となっています。



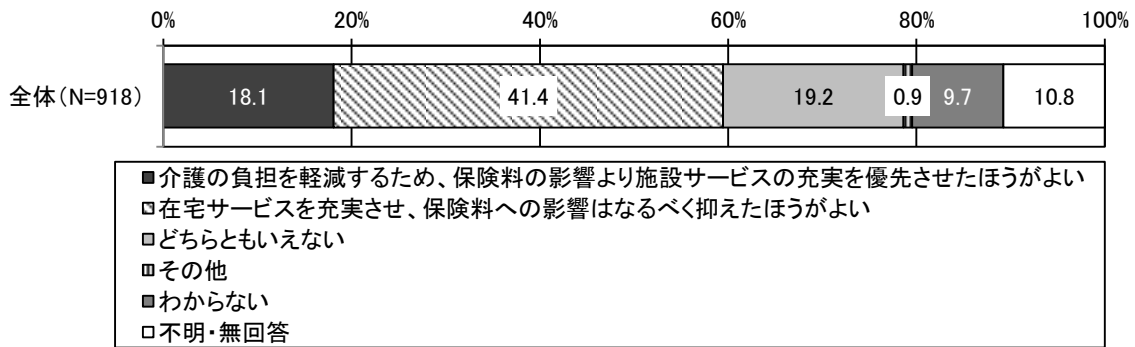
■介護保険料についての経済的な負担感 × 経済状況別

経済状況別にみると、『大変苦しい』『やや苦しい』では「負担が大きい」、それ以外では「今の程度なら、やむを得ない」が高くなっており、介護保険料が経済状況に大きな影響を与えていることがうかがえます。

上段:度数 下段:%		負担は感じない	それほど負担は感じない	今の程度なら、やむを得ない	やや負担が大きい	負担が大きい	わからない	不明・無回答
経済状況別	全体 N=918	14 1.5	48 5.2	316 34.4	192 20.9	174 19.0	57 6.2	117 12.7
	大変苦しい N=34	-	-	5 14.7	5 14.7	19 55.9	-	5 14.7
	やや苦しい N=190	-	5 2.6	37 19.5	57 30.0	61 32.1	8 4.2	22 11.6
	ふつう N=534	4 0.7	31 5.8	215 40.3	107 20.0	75 14.0	38 7.1	64 12.0
	ややゆとりがある N=65	4 6.2	7 10.8	27 41.5	6 9.2	6 9.2	5 7.7	10 15.4
	大変ゆとりがある N=18	3 16.7	3 16.7	10 55.6	-	-	1 5.6	1 5.6
	不明・無回答 N=77	3 3.9	2 2.6	22 28.6	17 22.1	13 16.9	5 6.5	15 19.5

(3) 今後、高齢化が進み、高齢者が増えていくと、介護保険施設（特別養護老人ホーム等の入所施設）が不足することも想定されます。ただし、施設サービスは在宅サービス（デイサービス等）よりも保険料への影響が大きくなります。これを踏まえ、保険料と施設サービスのあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（単数回答）

保険料と施設サービスのあり方への考えについてみると、「在宅サービスを充実させ、保険料への影響はなるべく抑えたほうがよい」が41.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が19.2%となっています。



12. 生活機能評価等の結果

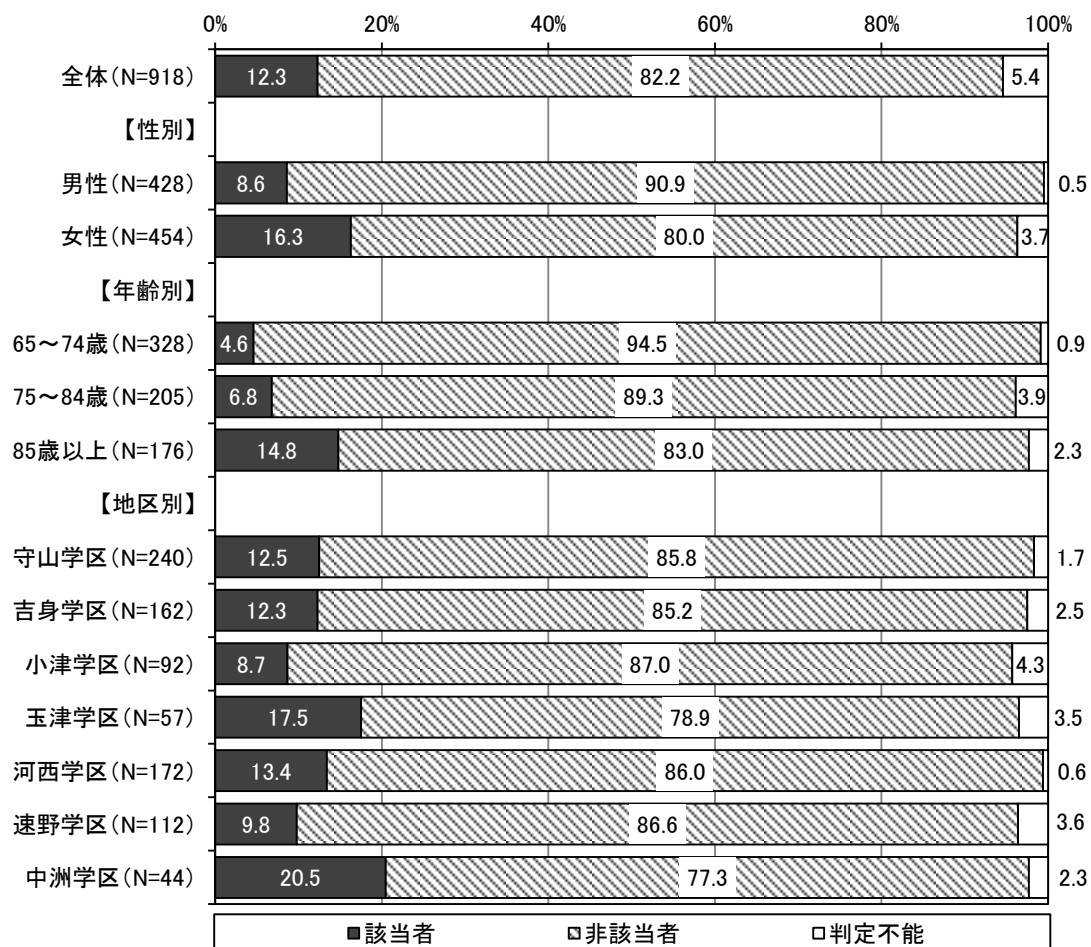
(1) 運動機能

■評価方法 5項目のうち、3項目以上に該当する方をリスク該当者としています。

番号	設問項目	判定・評価
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」⇒該当
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」⇒該当
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	「3. できない」⇒該当
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」「2. 1度ある」⇒該当
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」「2. やや不安である」⇒該当

運動機能についてみると、全体の12.3%が「該当者」となっています。

性別・年齢別にみると、『女性』『85歳以上』で全体よりも高くなっています。学区別にみると、『守山学区』『玉津学区』『河西学区』『中洲学区』で全体よりも高くなっています。



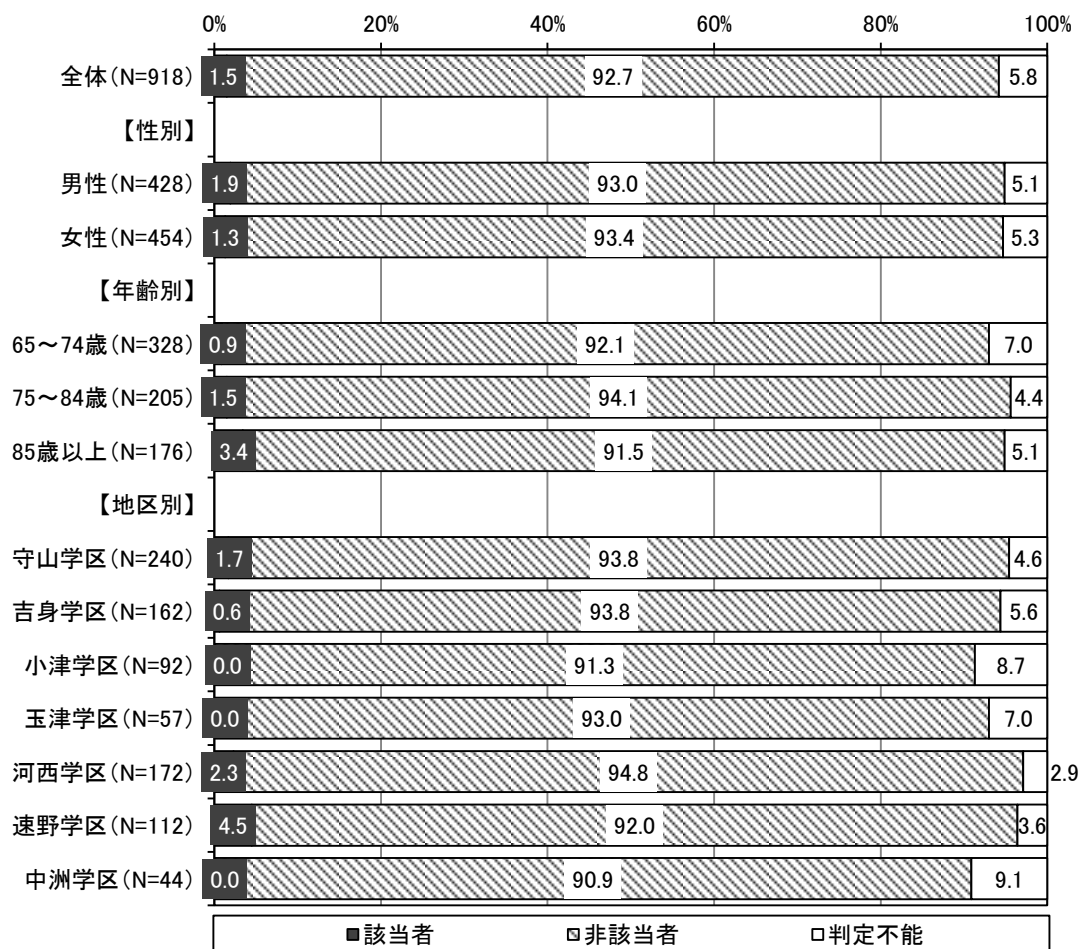
(2) 栄養改善

■評価方法 2項目のうち、1項目以上に該当する方をリスク該当者としています。

番号	設問項目	判定・評価
問3(1)	身長・体重	BMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})≤18.5 ⇒該当
問3(6)	6か月間で2～3 kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」⇒該当

栄養改善についてみると、全体の1.5%が「該当者」となっています。

性別・年齢別にみると、『男性』『85歳以上』で全体よりも高くなっています。学区別にみると、『守山学区』『河西学区』『速野学区』で全体よりも高くなっています。



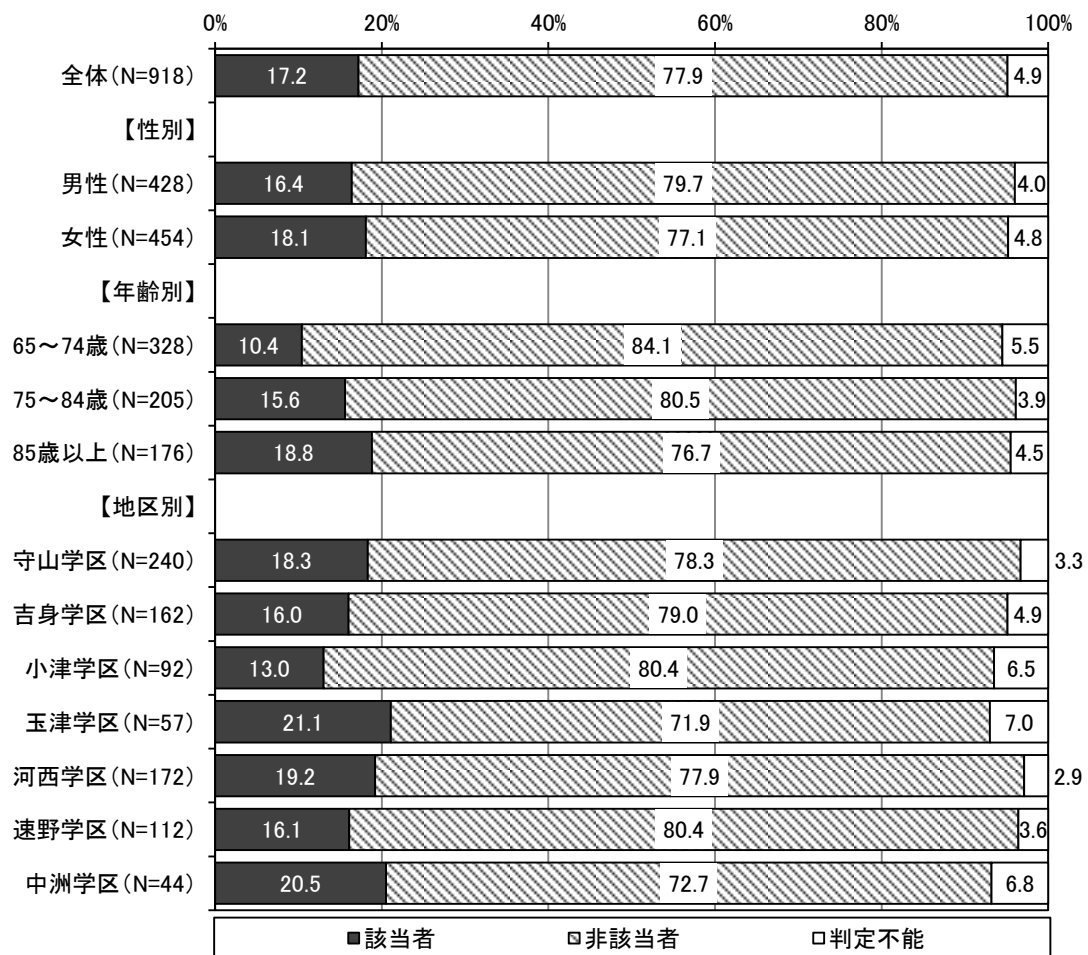
(3) 口腔機能

■評価方法 3項目のうち、2項目以上に該当する方をリスク該当者としています。

番号	設問項目	判定・評価
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」⇒該当
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」⇒該当
問3(4)	口の渇きが気になりますか	「1. はい」⇒該当

口腔機能についてみると、全体の17.2%が「該当者」となっています。

性別・年齢別にみると、『女性』『85歳以上』で全体よりも高くなっています。学区別にみると、『守山学区』『玉津学区』『河西学区』『中洲学区』で全体よりも高くなっています。



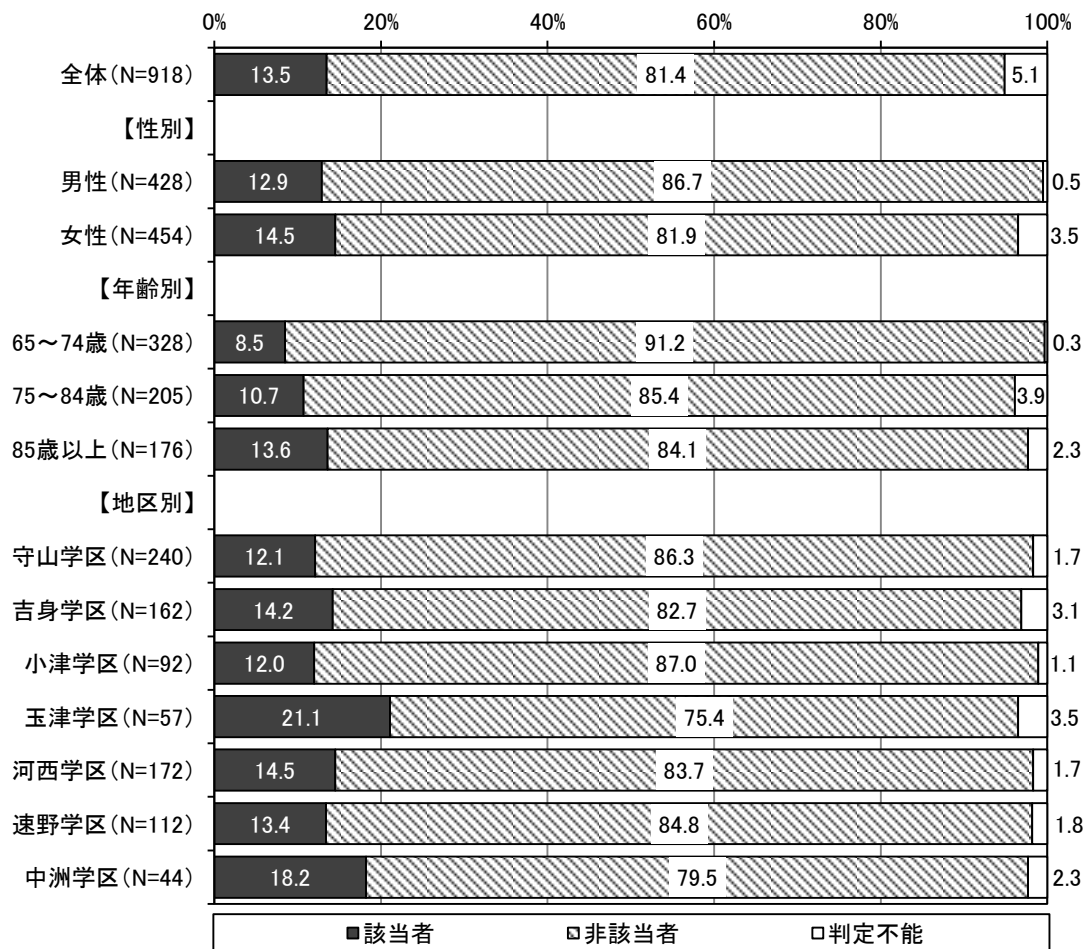
(4) 閉じこもり傾向

■評価方法 以下の項目に該当する方をリスク該当者としています。

番号	設問項目	判定・評価
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんどが出しない」「2. 週1回」⇒該当

閉じこもり傾向についてみると、全体の13.5%が「該当者」となっています。

性別・年齢別にみると、『女性』『85歳以上』で全体よりも高くなっています。学区別にみると、『吉身学区』『玉津学区』『河西学区』で全体よりも高くなっています。



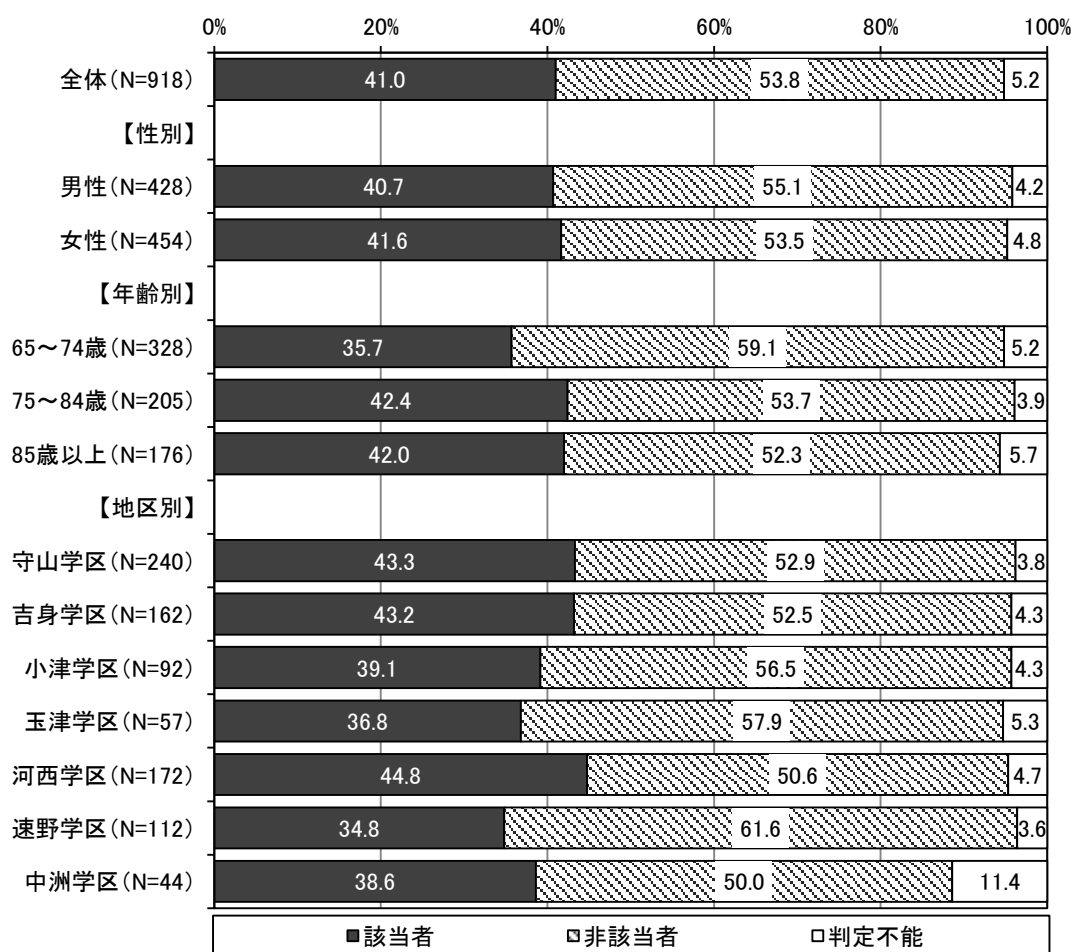
(5) 認知機能

■評価方法 以下の項目に該当する方をリスク該当者としています。

番号	設問項目	判定・評価
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」⇒該当

認知機能についてみると、全体の41.0%が「該当者」となっています。

性別・年齢別にみると、『女性』『75～84歳』『85歳以上』で全体よりも高くなっています。学区別にみると、『守山学区』『吉身学区』『河西学区』で全体よりも高くなっています。



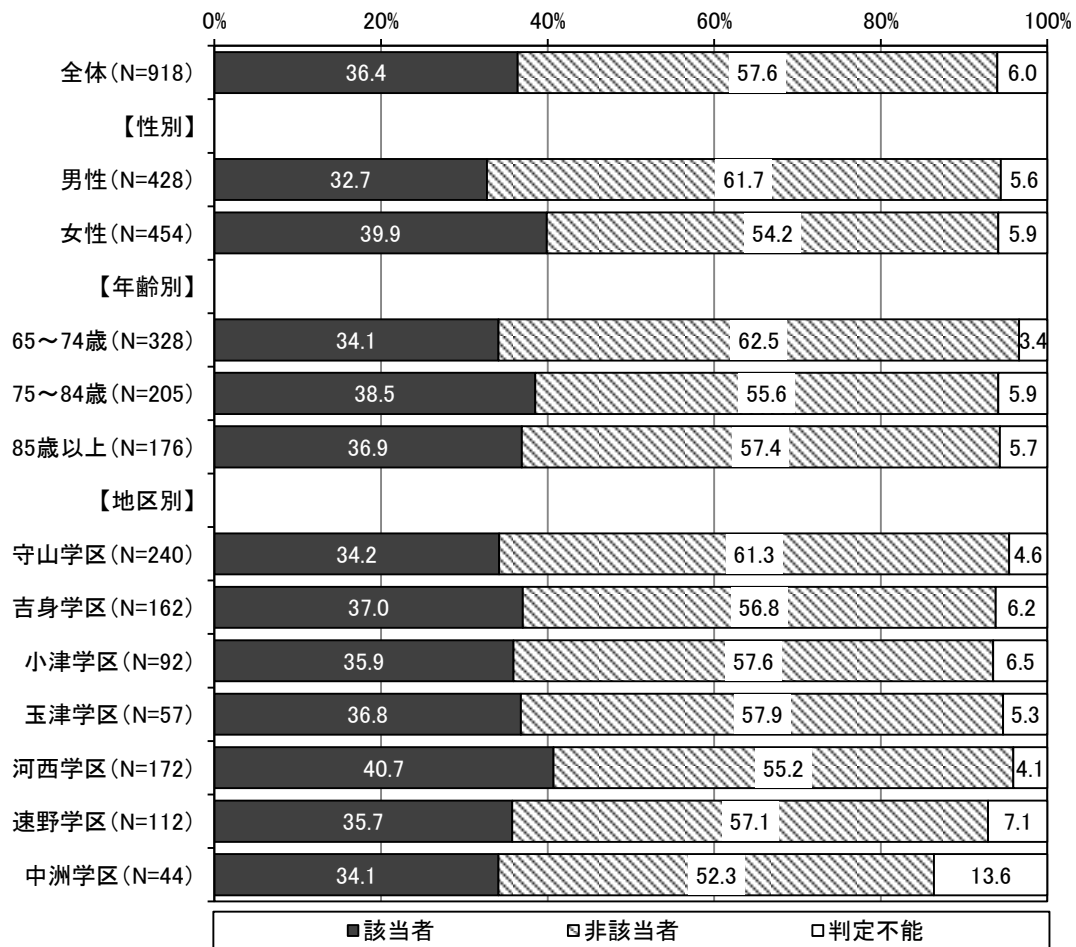
(6) うつ傾向

■評価方法 2項目のうち、1項目以上に該当する方をリスク該当者としています。

番号	設問項目	判定・評価
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」⇒該当
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」⇒該当

うつ傾向についてみると、全体の36.4%が「該当者」となっています。

性別・年齢別にみると、『女性』『75～84歳』『85歳以上』で全体よりも高くなっています。学区別にみると、『吉身学区』『玉津学区』『河西学区』で全体よりも高くなっています。



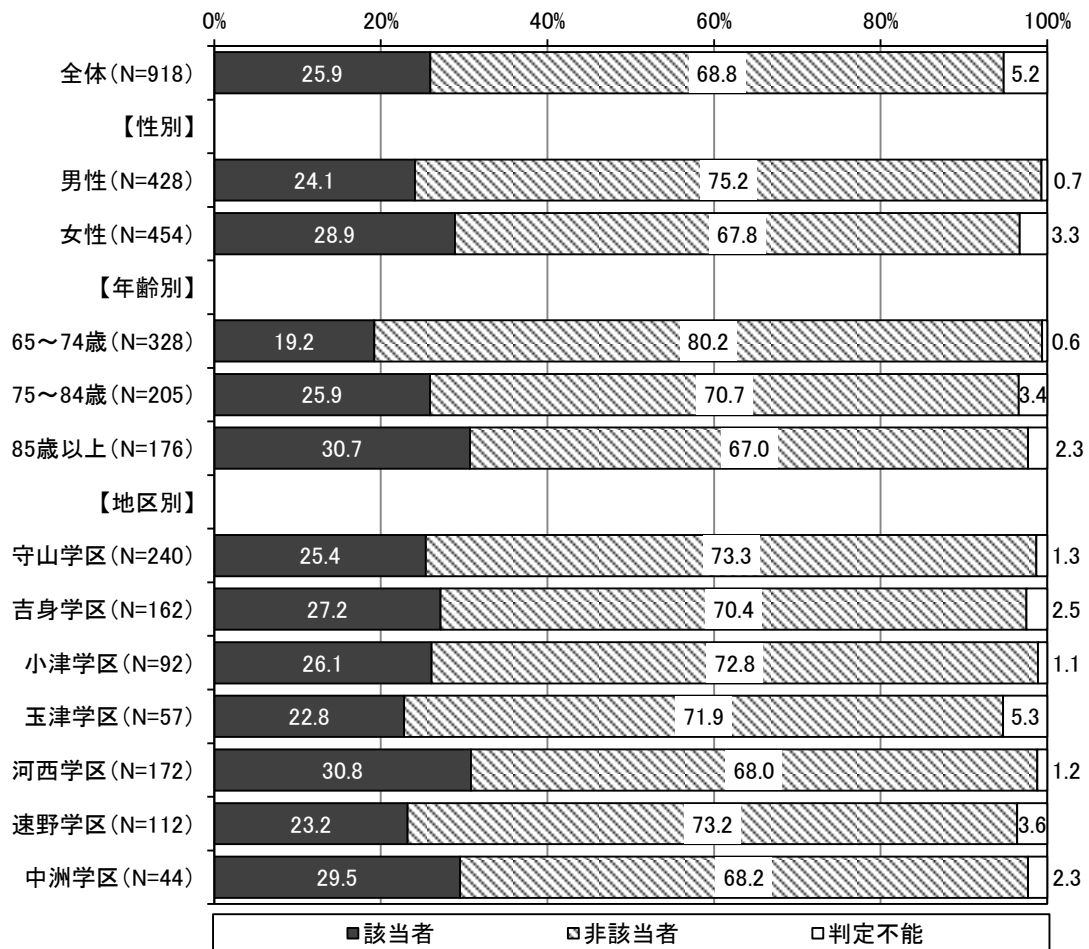
(7) 転倒リスク

■評価方法 以下の項目に該当する方をリスク該当者としています。

番号	設問項目	判定・評価
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」「2・1度ある」⇒該当

転倒リスクについてみると、全体の25.9%が「該当者」となっています。

性別・年齢別にみると、『女性』『85歳以上』で全体よりも高くなっています。学区別にみると、『吉身学区』『小津学区』『河西学区』『中洲学区』で全体よりも高くなっています。



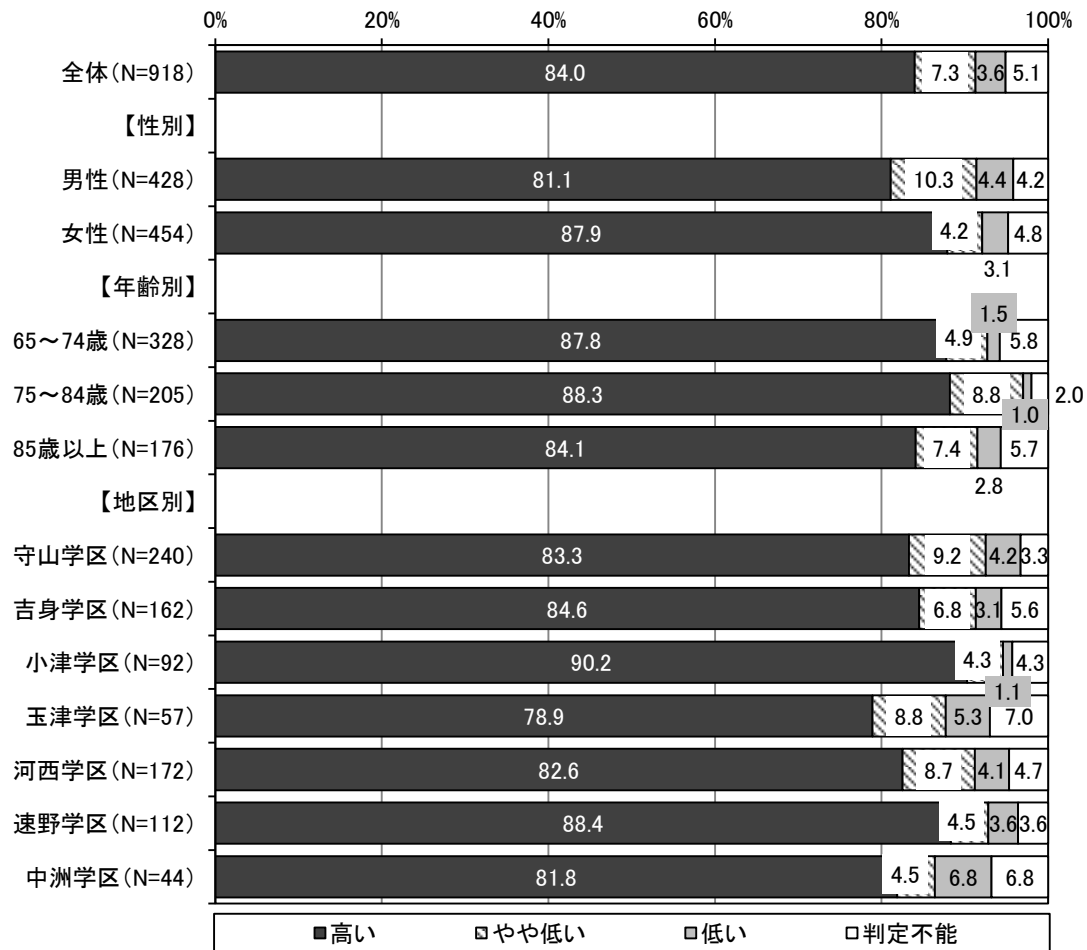
(8) 手段的自立度 (IADL)

■評価方法 5項目のうち、5項目に該当する方を「高い」、4項目に該当する方を「やや低い」、3項目以下を「低い」と評価しています。

番号	設問項目	判定・評価
問4(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか	「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」⇒該当
問4(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」⇒該当
問4(6)	自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」⇒該当
問4(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」⇒該当
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」⇒該当

手段的自立度 (IADL) についてみると、全体の84.0%が「高い」となっています。

性別にみると、『男性』で全体よりも低くなっています。学区別にみると、『守山学区』『玉津学区』『河西学区』『中洲学区』で全体よりも低くなっています。



(9) 大友式認知症予測テスト

大友式認知症予測テストとは、認知症のごく初期、認知症の始まり、あるいは認知症に進展する可能性のある状態を、回答者自身やその家族などが簡単に予測できるように考案されたものです。(認知症予防財団 HP より)

■評価方法 10項目のうち、0～8点に該当する方を「正常」、9～13点に該当する方を「要注意」、14点以上の方を「要診断」と評価しています。

番号	設問項目	判定・評価
問8(1)①	同じ話を無意識に繰り返す	「頻繁にある」⇒2点、「時々ある」⇒1点
問8(1)②	知っている人の名前が思い出せない	「頻繁にある」⇒2点、「時々ある」⇒1点
問8(1)③	物のしまい場所を忘れる	「頻繁にある」⇒2点、「時々ある」⇒1点
問8(1)④	漢字を忘れる	「頻繁にある」⇒2点、「時々ある」⇒1点
問8(1)⑤	今しようとしていることを忘れる	「頻繁にある」⇒2点、「時々ある」⇒1点
問8(1)⑥	器具の説明書を読むのが面倒	「頻繁にある」⇒2点、「時々ある」⇒1点
問8(1)⑦	理由もないのに気がふさぐ	「頻繁にある」⇒2点、「時々ある」⇒1点
問8(1)⑧	身だしなみに無関心である	「頻繁にある」⇒2点、「時々ある」⇒1点
問8(1)⑨	外出がおっくうになる	「頻繁にある」⇒2点、「時々ある」⇒1点
問8(1)⑩	物(財布など)が見当たらないことを他人のせいにする	「頻繁にある」⇒2点、「時々ある」⇒1点

大友式認知症予測テストについてみると、全体の75.4%が「正常」となっています。

性別にみると、『女性』で全体よりも低くなっています。学区別にみると、『玉津学区』『中洲学区』で全体よりも低くなっています。

